

平成23年歯科疾患実態調査

はちまるにいまる

8020 達成者は3人に1人以上で過去最高

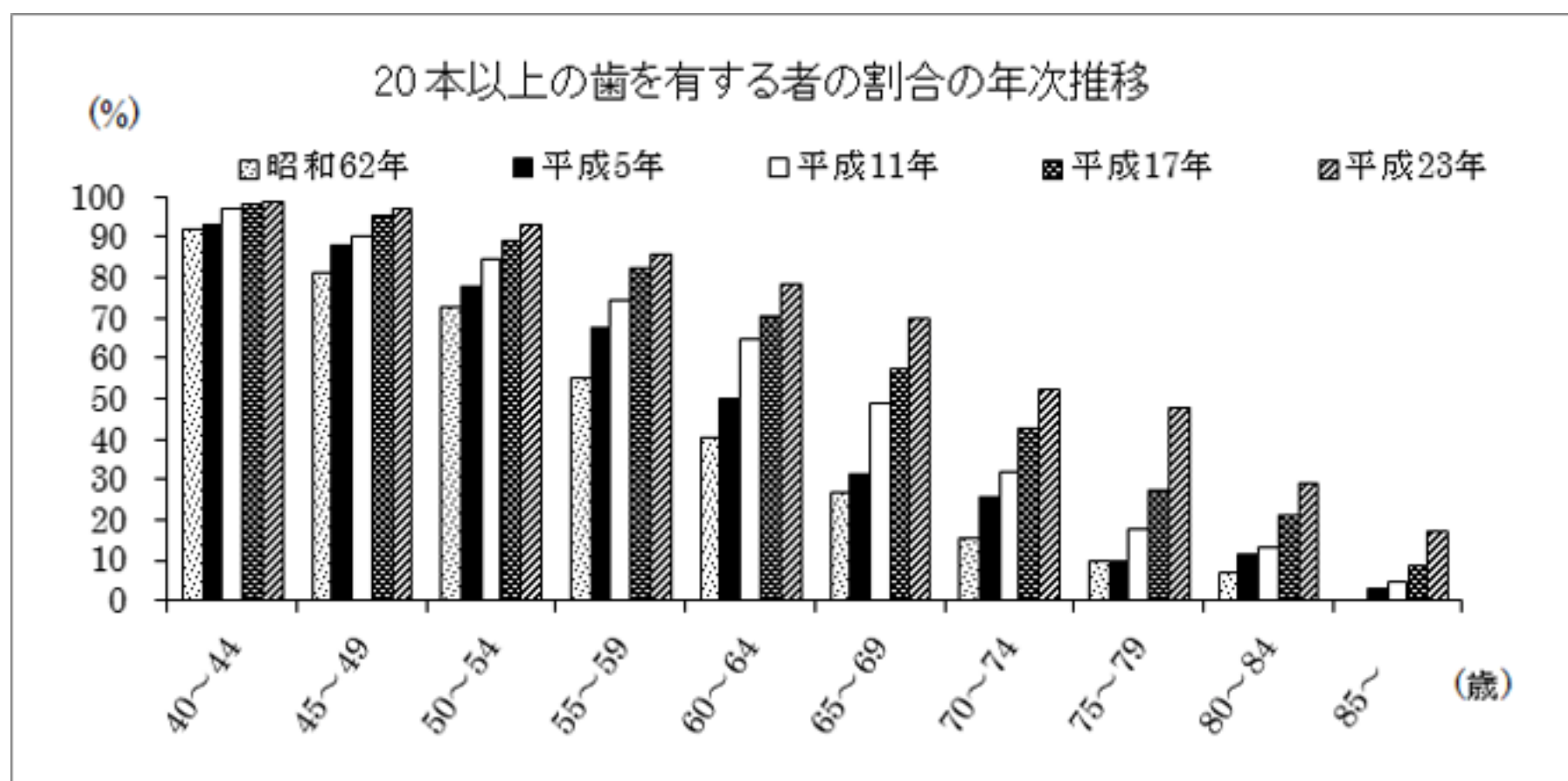
※80歳で20本以上の歯を有する者の割合

平成23年歯科疾患実態調査 結果の概要について（発表）

この調査は、わが国の歯科保健状況を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的に、昭和32年より6年ごとに実施している。平成23年11月に実施した、第10回の調査結果の概要が、別紙のとおりまとめたので発表する。

この調査の結果から、8020達成者（80歳で20本以上の歯を有する者の割合）は38.3%であり、平成17年の調査結果24.1%から増加している。（8020達成者は、75歳以上80歳未満、80歳以上85歳未満の数値から推計）

なお、この調査は、全国を対象として、平成23年国民生活基礎調査により設定された単位区から無作為に抽出した300単位区内の世帯及び当該世帯の満1歳以上の世帯員を調査客体としており、今回の被調査者数は4,253人（男1,812人、女2,441人）であった。



6月4日（月）から10日（日）までの1週間は「歯の衛生週間」です。

 [資料1 結果の概要](#) [138KB]

 [資料2 結果の概要 図表](#) [938KB]

結果の概要

1. 被調査者数

被調査者数は 4,253 人(男 1,812 人、女 2,441 人)であり、1 歳以上 15 歳未満の者は 535 人(男 272 人、女 263 人)、5 歳以上の者は 4,098 人(男 1,728 人、女 2,370 人)、うち 5 歳以上 15 歳未満の者は 380 人(男 188 人、女 192 人)であった。(表 1、図 1)。

2. う蝕とその処置状況

1) 乳歯

5 歳以上 10 歳未満においては、各年齢とも現在歯に対してう蝕を持つ者の割合は 40%を超えていた(表 2、図 2)。7 歳未満の各年齢において過去の調査と比較すると、現在歯に対してう蝕を持つ者の割合(表 3、図 3)、1 人平均 df 歯数(df 指数)(表 4、図 4)、1 人平均未処置歯数(表 5、図 5)のいずれも減少傾向を示している。

2) 乳歯+永久歯

5 歳以上 15 歳未満の各年齢において、4 割～7 割程度の者が乳歯または永久歯の現在歯にう蝕を有する者であった(表 6、図 6)。過去の調査と比較し、減少傾向を示している(表 7、図 7)。

3) 永久歯

[1]う蝕の状況

5 歳以上 10 歳未満の年齢階級では現在歯に対してう蝕を持つ者の割合は 10%であった。20 歳以上 80 歳未満の各年齢階級では 8 割以上にのぼった(表 8、図 8)。過去の調査と比較すると、5 歳以上 25 歳未満の各年齢階級では減少する傾向を示したが、45 歳以上では、増加傾向を示す年齢階級があった(表 9、図 9)。

5 歳以上 15 歳未満の 1 人平均 DMF 歯数(DMFT 指数)は、近年、減少傾向を示しており、今回調査における 12 歳児の DMFT 指数は 1.4 であった(表 10、図 10)。15 歳以上において DMFT 指数を過去の調査と比較すると、若年者において減少する傾向がみられるとともに 50 歳以上の各年齢階級においても減少する傾向がみられた(表 11、図 11)。う蝕の処置状況は若年層では充填が多かったが、高齢者ではクラウン、とくに架橋義歯(ブリッジ)の支台となるクラウンが多かった(表 12、図 12)。

[2]喪失歯の状況とその補綴状況

5 歳以上の多くの年齢階級で喪失歯を有する者の率(喪失歯所有者率)は、過去の調査より減少する傾向を示し(表 13、図 13)、1 人平均喪失歯数も減少する傾向を示した(表 14、図 14)。

装着された補綴物の内訳は、80 歳未満の各年齢階級では、部分床義歯装着者より架工義歯(ブリッジ)装着者が多く、80 歳以上 85 歳未満の年齢階級では部分床義歯装着者が多かったが、85 歳以上の年齢階級では全部床義歯装着者が多かった(表 15、図 15)。

[3]現在歯の状況(20 本以上の歯を有する者の割合等)

20 本以上の歯を有する者の割合は増加傾向にある(表 16、図 16)。なお、75 歳以上 80 歳未満、80 歳以上 85 歳未満の年齢階級の数値を単純平均することで 80 歳での数値を推定すると、1 人平均現在歯数では 13.9、20 本以上の現在歯を持つ者の割合での推定値は 38.3%となる。

40 歳以上の男女比較において、80 歳以上では 1 人平均現在歯数(表 17、図 17)、20 本以上の歯を持つ者の割合(表 18、図 18)ともに男性のほうが女性よりもやや高値を示した。

3. 歯肉の状況

若年者においては歯肉に所見のある者、診査対象歯のない者が少なかったが、高齢になるにつれ歯肉に所見のある者および対象歯のない者が多かった(表 19、図 19)。4mm 以上の歯周ポケットを持つ者の割合について前回調査(平成 17 年)と比較すると、30～60 歳代では概ね低値を示した。一方、75 歳以上の高齢者層では今回調査のほうが高値を示した(表 20、図 20)。この原因として現在歯数の増加が考えられる。

4. 歯列・咬合の状況

12 歳以上 20 歳未満で叢生のある者は約 44%(表 21、図 21)、歯列に空隙のある者は約 12%(表 22、図 22)であった。オーバージェットの状況は(表 23、図 23)、オーバークロウの状況については(表 24、図 24)に示した。

5. フッ化物塗布の状況

1 歳以上 15 歳未満においてフッ化物塗布を受けたことのある者は 64%であった。その内訳をみると、約 15%が市町村保健センター等で、4 割弱がその他の医療機関で、そして約 1 割が両方で受診したと回答した(表 25、図 25)。フッ化物塗布を受けたことのある者の割合は、調査を重ねるごとに増加している(表 26、図 26)。

6. 歯ブラシの使用状況

1 歳以上の者では、毎日歯をみがく者の割合は 95%であった。また、毎日複数回歯をみがく者の割合は近年増加している(表 27、図 27)。

7. 顎関節の状況

口を大きく開け閉めした時、あごの音がするか、痛みがあるかという質問に「はい」と答えた者の割合は、どちらも全体的に女性において高い傾向を示した(表 28・図 28、表 29・図 29)。

8. インプラントの状況

15 歳以上の者では、インプラントが入っていると回答した者は 2.6%であり、55～74 歳で高い割合を示した(表 30、図 30)。

9. かみあわせの状況

15 歳以上 45 歳未満の者では、両側で接触のある者が 95%以上であるが、45 歳以上では年齢とともに接触のある者の割合が少なくなる傾向を示した(表 31、図 31)。

なお、本調査の結果(統計表を含む)に示した主な数値等は次の方法により算出した。

1. う蝕を持つ者の割合

1)(乳 歯)

う蝕を持つ者の割合(%) = (現在歯の乳歯にう蝕のある者の数) / (被調査者数) × 100

※ う蝕のある者の数:

未処置歯、処置歯のいずれかを1本以上有する者の数

被調査者数:

検査を受けた1歳以上15歳未満の者で、う蝕のない者、う蝕のある者、歯のない者の総数

2)(乳歯+永久歯)

う蝕を持つ者の割合(%) = (現在歯の乳歯または永久歯にう蝕のある者の数) / (被調査者数) × 100

※ う蝕のある者の数:

未処置歯、処置歯、喪失歯(永久歯のみ)のいずれかを1本以上有する者の数

被調査者数:

調査を受けた5歳以上15歳未満の者で、う蝕のない者、う蝕のある者、歯のない者の総数

3)(永久歯)

う蝕を持つ者の割合(%) = (現在歯の永久歯にう蝕のある者の数) / (被調査者数) × 100

※ う蝕のある者の数:

未処置歯、処置歯、喪失歯のいずれかを1本以上有する者の数

被調査者数:

調査を受けた5歳以上の者で、う蝕のない者、う蝕のある者、歯のない者の総数

2. 1人平均現在歯数

1)(乳 歯)

1人平均現在歯数(本) = (乳歯の現在歯数) / (被調査者数)

※ 現在歯数:

健全歯、未処置歯、処置歯の総数

被調査者数:

前記1.1)に同じ

2)(永久歯)

1 人平均現在歯数(本) = (永久歯の現在歯数) / (被調査者数)

※ 現在歯数:

前記 2.1)に同じ

被調査者数:

前記 1.3)に同じ

3. 1 人平均 df 歯数(df 指数)および DMF 歯数(DMFT 指数)

1)(乳 歯)

df 指数 = (乳歯のう歯数) / (被検査者数)

※ う歯数:

未処置歯、処置歯の総数

被調査者数:

前記 1.1)に同じ

2)(永久歯)

DMFT 指数 = (永久歯のう歯数) / (被調査者数)

※ う歯数:

未処置歯、処置歯、喪失歯の総数

喪失歯数:

喪失歯の総数

被調査者数:

前記 1.3)に同じ

4. 喪失歯所有者率および 1 人平均喪失歯数

1)(永久歯)

喪失歯所有者率(%) = (喪失歯のある者の数) / (被調査者数) × 100

※ 喪失歯のある者の数:

喪失歯を 1 本以上有する者の数

被調査者数:

前記 1.3)に同じ

2)(永久歯)

1 人平均喪失歯数(本) = (喪失歯数) / (被調査者数) × 100

※ 喪失歯数:

前記 3.2)に同じ

被調査者数:

前記 1.3)に同じ

5. 歯ブラシの使用者率

歯ブラシの使用者率(%) = (歯ブラシの使用者数) / (被調査者数) × 100

※ 歯ブラシの使用者数、被調査者数:

1 歳以上の者

表1 被調査者数

(人)

	昭和32年 (第1回)	昭和38年 (第2回)	昭和44年 (第3回)	昭和50年 (第4回)	昭和56年 (第5回)	昭和62年 (第6回)	平成5年 (第7回)	平成11年 (第8回)	平成17年 (第9回)	平成23年 (第10回)
総 数	30,504	24,068	20,100	15,816	14,462	12,474	9,827	6,903	4,606	4,253
男	13,954	10,383	8,885	6,851	6,232	5,209	4,210	2,865	1,926	1,812
女	16,550	13,685	11,215	8,965	8,230	7,265	5,617	4,038	2,680	2,441
乳歯 (1～15歳未満)	11,386	8,040	5,542	4,457	3,999	3,081	2,073	1,104	620	535
乳歯＋永久歯 (5～15歳未満)	8,688	6,254	4,021	3,047	2,983	2,256	1,533	771	455	380
永久歯 (5歳以上)	27,812	22,282	18,579	14,406	13,446	11,649	9,287	6,570	4,441	4,098
1～9歳	7,496	4,505	3,509	3,040	2,588	2,011	1,361	761	412	365
10～19歳	6,341	5,523	3,633	2,328	2,220	1,741	1,200	614	327	283
20～29歳	4,055	2,815	2,549	2,044	1,375	989	701	557	279	211
30～39歳	3,991	3,556	3,103	2,451	2,269	1,840	1,277	807	436	464
40～49歳	3,334	2,800	2,852	2,360	2,106	1,661	1,467	876	506	437
50～59歳	2,665	2,375	2,157	1,608	1,872	1,775	1,468	1,063	704	543
60～69歳	1,752	1,710	1,448	1,250	1,174	1,432	1,372	1,236	930	835
70～79歳	721	668	706	614	699	811	756	807	769	784
80～ 歳	149	116	143	121	159	214	225	182	243	331

※ 昭和32年調査～昭和44年調査では調査対象者に0歳児を含んでいたが、
本表では比較のために1歳未満の者を除いた人数を掲載した。

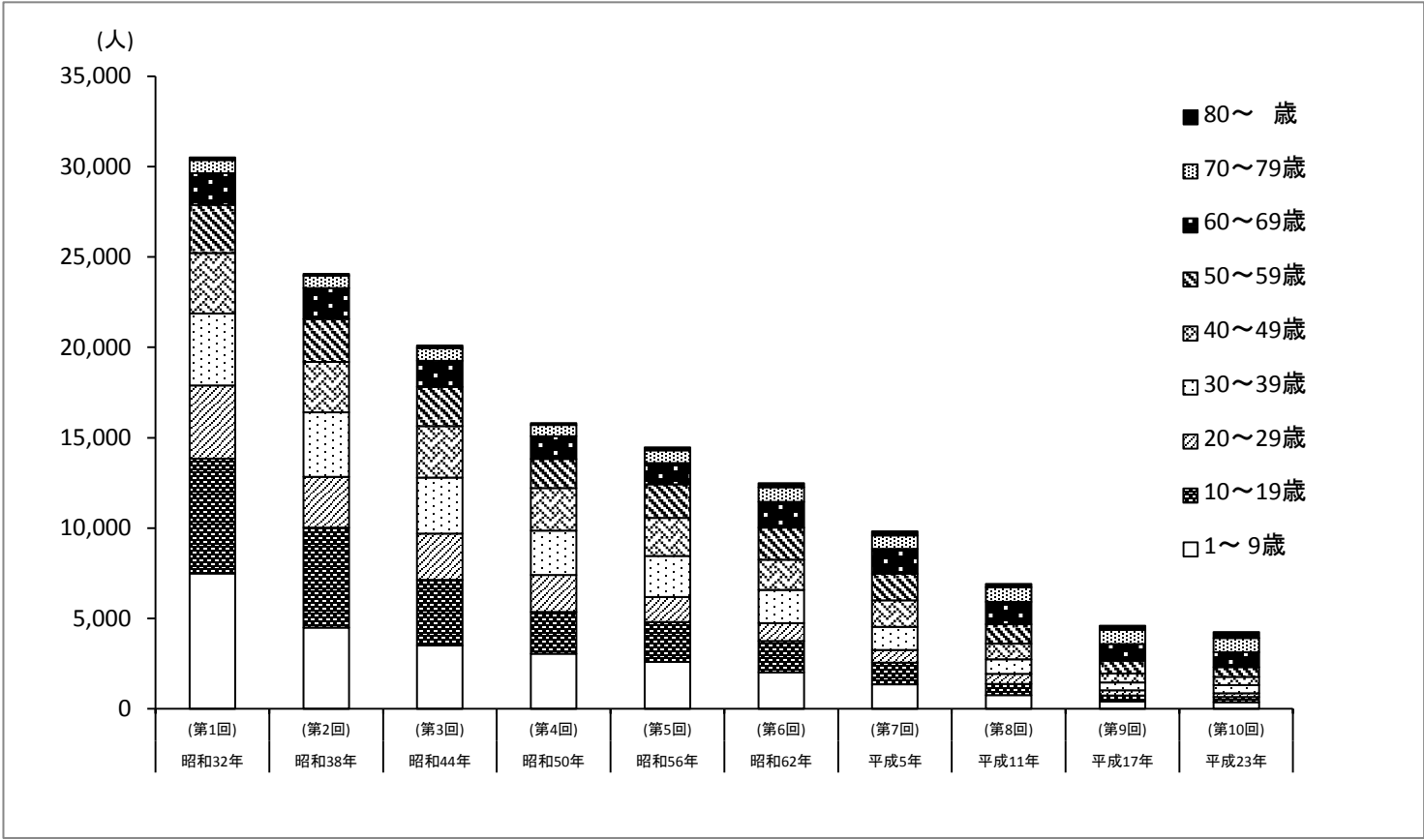


図1 被調査者数

表2 現在歯に対してう歯を持つ者の数、1～15歳未満、乳歯
(人)

年 齢(歳)	対象者数	う歯のない者	処置完了の者	処置歯・未処置を併有する者	未処置の者
1	37	37	－	－	－
2	40	37	－	－	3
3	32	24	－	－	8
4	46	30	5	2	9
5	30	15	1	9	5
6	38	22	7	7	2
7	45	20	10	12	3
8	52	16	21	11	4
9	45	24	9	6	6
10	48	23	12	9	4
11	38	28	8	2	－
12	37	27	5	2	3
13	28	24	2	－	2
14	19	19	－	－	－

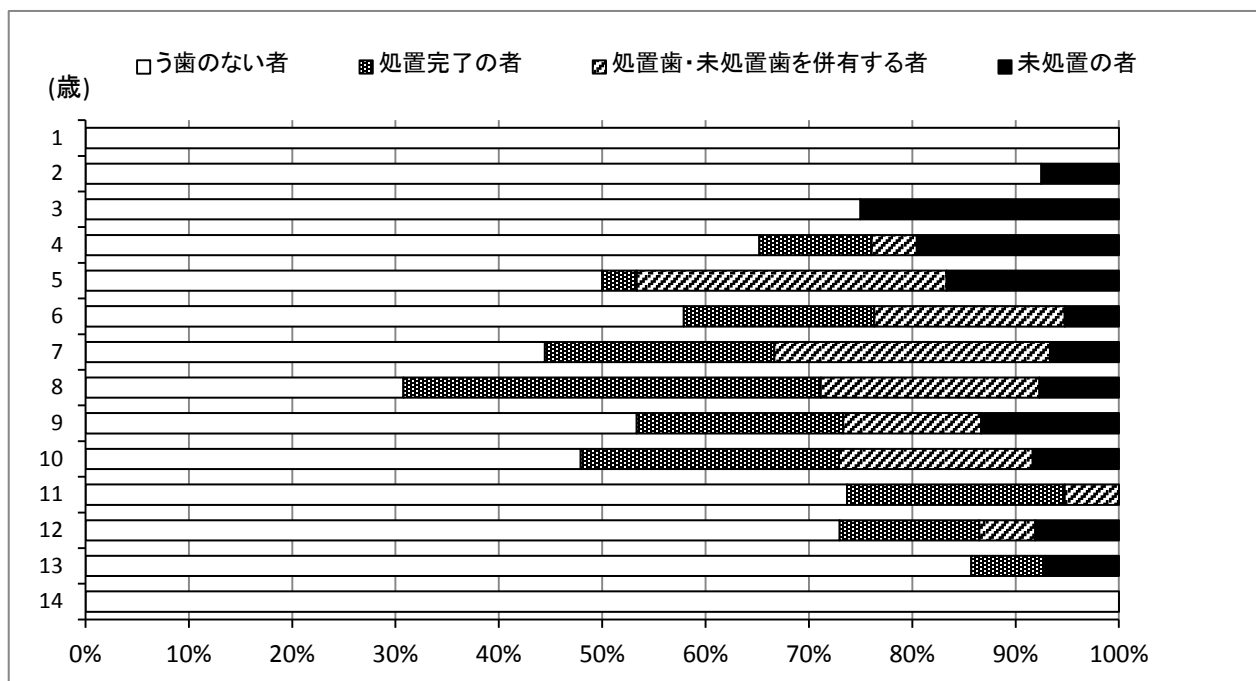


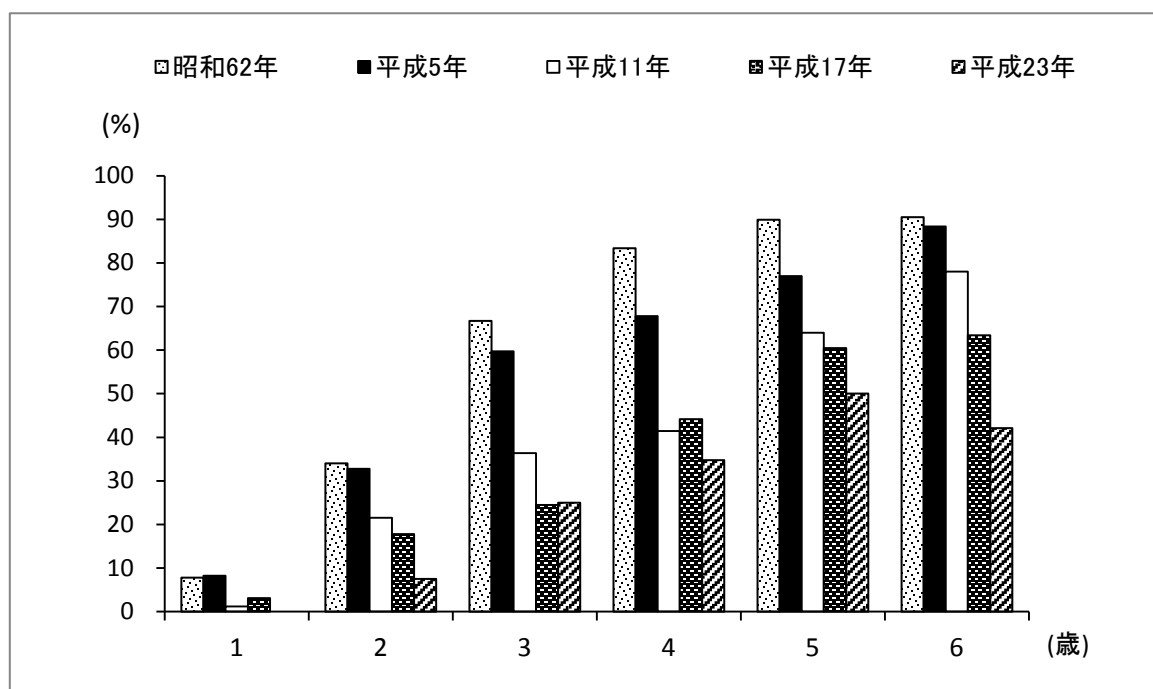
図2 現在歯に対してう歯を持つ者の割合、1～15歳未満、乳歯

表3 現在歯の乳歯にう歯を持つ者の割合の年次推移

(%)

年齢(歳)	昭和62年	平成5年	平成11年	平成17年	平成23年
1	7.8	8.3	1.2	3.1	0.0
2	34.0	32.8	21.5	17.8	7.5
3	66.7	59.7	36.4	24.4	25.0
4	83.4	67.8	41.5	44.2	34.8
5	89.9	77.0	64.0	60.5	50.0
6	90.5	88.4	78.0	63.4	42.1

注) 平成5年以前、平成11年以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。



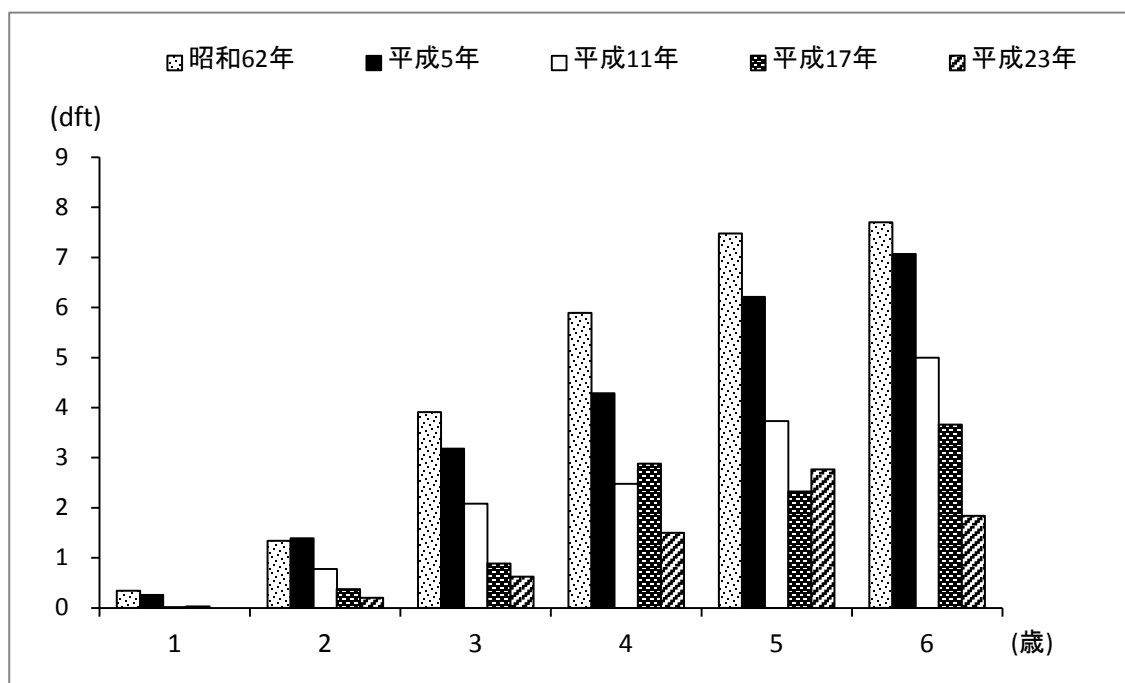
注) 平成5年以前、平成11年以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。

図3 現在歯の乳歯にう歯を持つ者の割合の年次推移

表4 乳歯の1人平均う歯数(dft指数)の年次推移
(dft)

年齢(歳)	昭和62年	平成5年	平成11年	平成17年	平成23年
1	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0
2	1.3	1.4	0.8	0.4	0.2
3	3.9	3.2	2.1	0.9	0.6
4	5.9	4.3	2.5	2.9	1.5
5	7.5	6.2	3.7	2.3	2.8
6	7.7	7.1	5.0	3.7	1.8

注) 平成5年以前、平成11年以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。



注) 平成5年以前、平成11年以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。

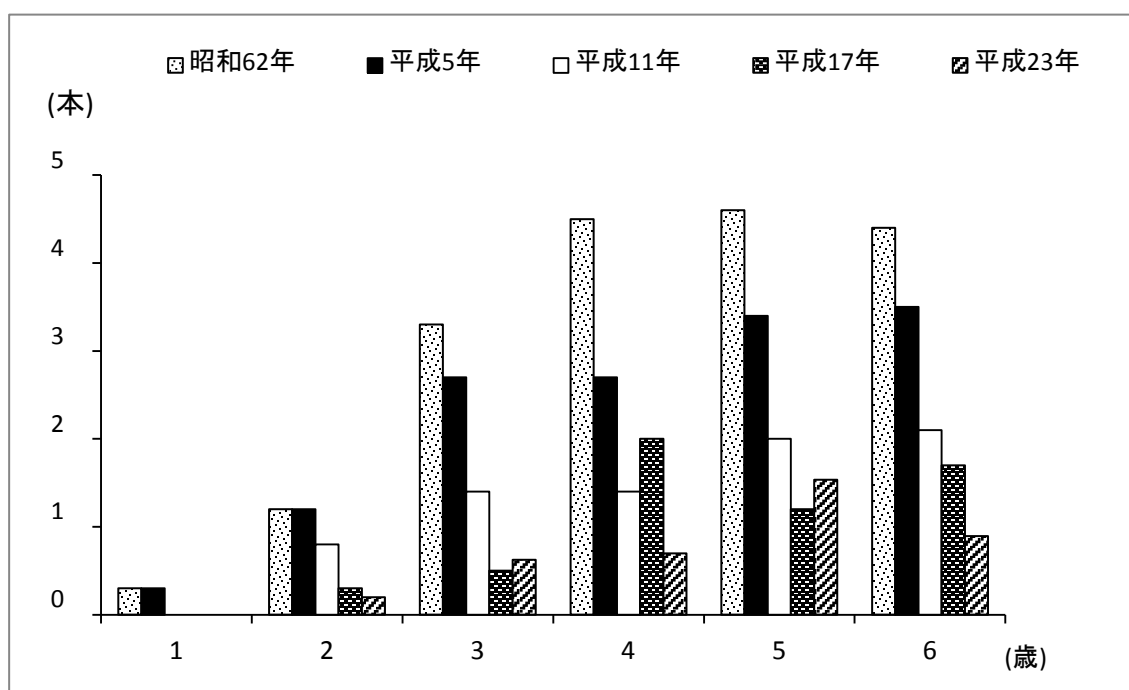
図4 乳歯の1人平均う歯数(dft指数)の年次推移

表5 乳歯の1人平均未処置歯数の年次推移

(本)

年齢(歳)	昭和62年	平成5年	平成11年	平成17年	平成23年
1	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0
2	1.2	1.2	0.8	0.3	0.2
3	3.3	2.7	1.4	0.5	0.6
4	4.5	2.7	1.4	2.0	0.7
5	4.6	3.4	2.0	1.2	1.5
6	4.4	3.5	2.1	1.7	0.9

注) 平成5年以前、平成11年以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。



注) 平成5年以前、平成11年以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。

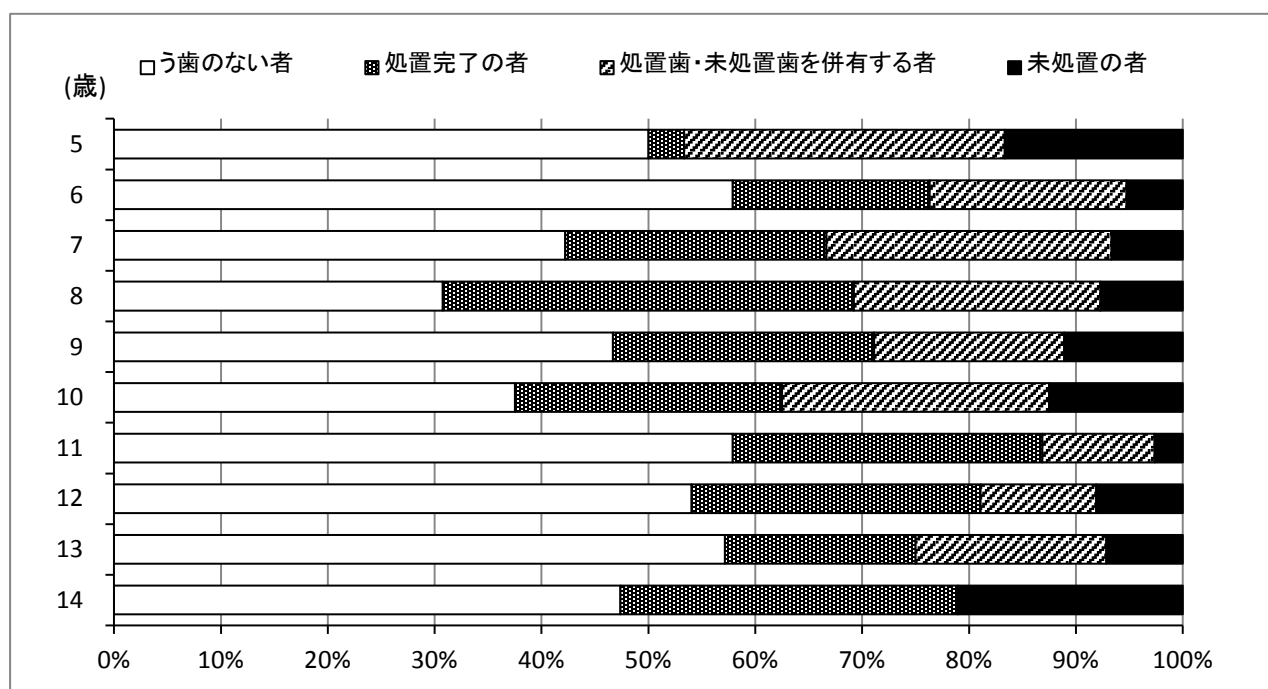
図5 乳歯の1人平均未処置歯数

表6 現在歯に対してう歯を持つ者の数、5～15歳未満、乳歯＋永久歯

(人)

年 齢(歳)	対象者数	う歯のない者	処置完了の者	処置歯・未処置歯 を併有する者	未処置の者
5	30	15	1	9	5
6	38	22	7	7	2
7	45	19	11	12	3
8	52	16	20	12	4
9	45	21	11	8	5
10	48	18	12	12	6
11	38	22	11	4	1
12	37	20	10	4	3
13	28	16	5	5	2
14	19	9	6	—	4

注) 平成5年以前、平成11年以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。



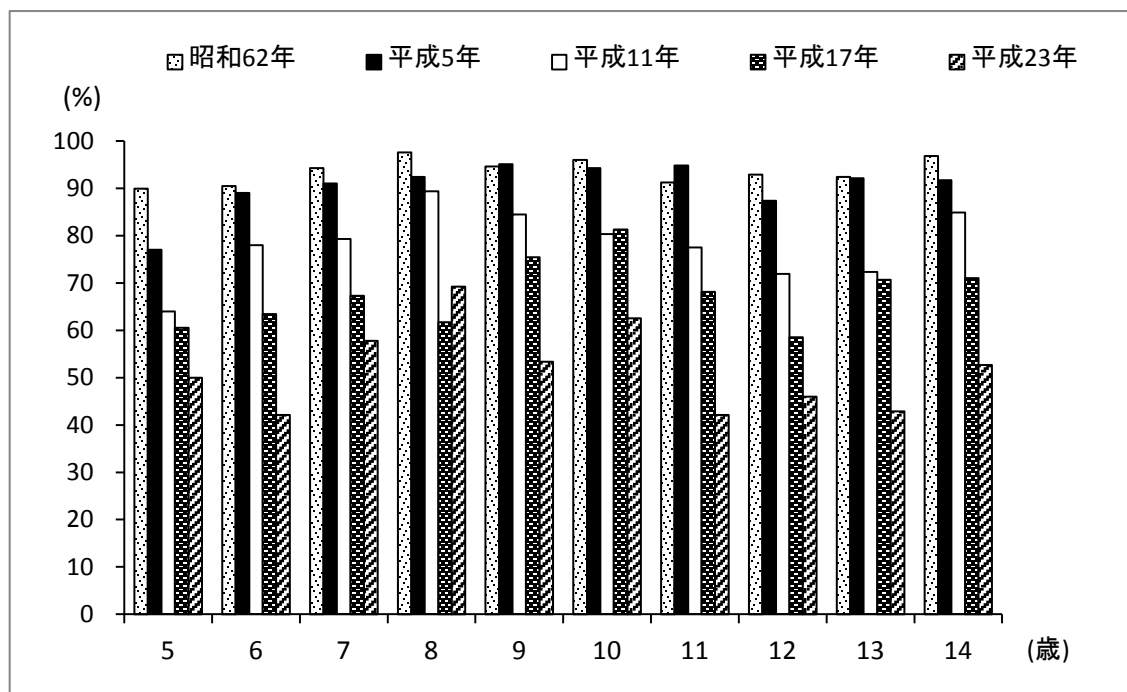
注) 平成5年以前、平成11年以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。

図6 現在歯に対してう歯を持つ者の割合、5～15歳未満、乳歯＋永久歯

表7 現在歯に対してう歯を持つ者の割合の年次推移、5～15歳未満、乳歯＋永久歯
(%)

年齢(歳)	昭和62年	平成5年	平成11年	平成17年	平成23年
5	89.9	77.0	64.0	60.5	50.0
6	90.5	89.0	78.0	63.4	42.1
7	94.3	91.0	79.3	67.3	57.8
8	97.6	92.4	89.4	61.7	69.2
9	94.6	95.1	84.5	75.4	53.3
10	96.0	94.3	80.3	81.3	62.5
11	91.2	94.8	77.5	68.1	42.1
12	92.9	87.4	71.9	58.5	45.9
13	92.4	92.1	72.3	70.7	42.9
14	96.8	91.7	84.9	71.0	52.6

注) 平成5年以前、平成11年以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。



注) 平成5年以前、平成11年以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。

図7 現在歯に対してう歯を持つ者の割合の年次推移、5～15歳未満、乳歯＋永久歯

表8 現在歯に対してう歯を持つ者の数、5歳以上、永久歯
(人)

年 齢(歳)	対象者数	う歯のない者	処置完了の者	処置歯・未処置歯を併有する者	未処置の者
5～9	211	189	15	—	7
10～14	170	111	33	10	16
15～19	113	41	28	32	12
20～24	89	9	41	33	6
25～29	122	6	64	48	4
30～34	193	6	108	77	2
35～39	271	5	165	100	1
40～44	227	1	150	74	2
45～49	210	3	130	74	3
50～54	257	1	168	85	3
55～59	286	3	181	95	7
60～64	440	15	265	152	8
65～69	395	18	236	134	7
70～74	443	50	229	148	16
75～79	340	41	169	117	13
80～84	225	49	84	80	12
85～	106	37	40	23	6

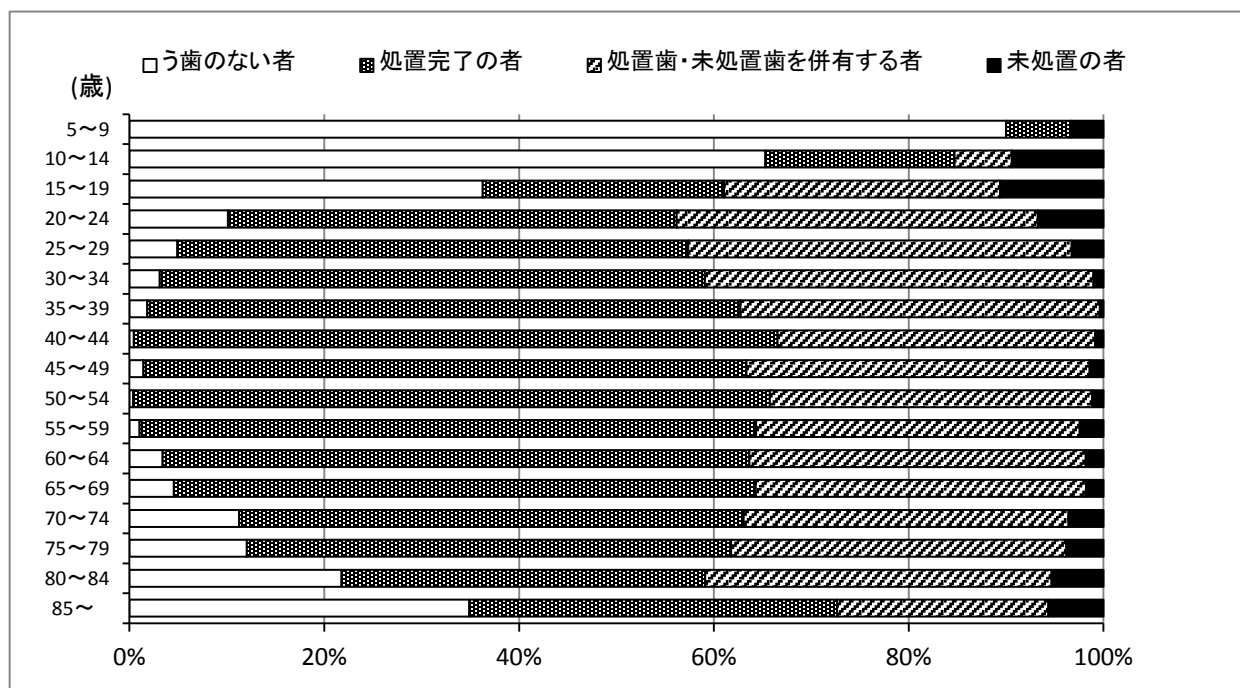
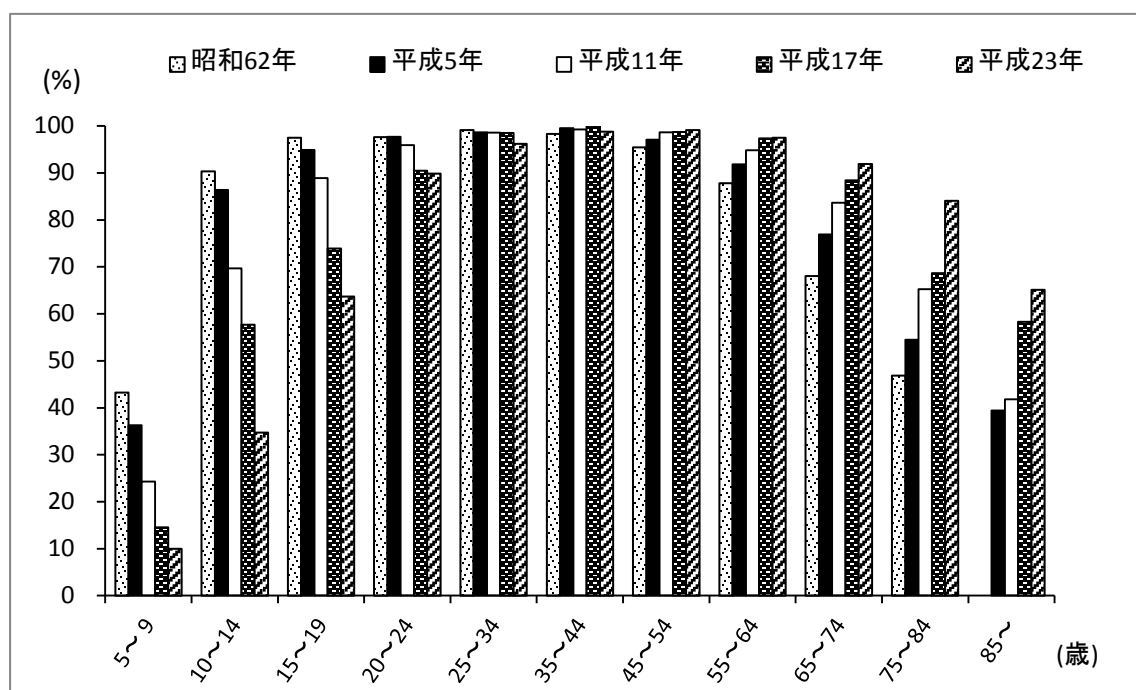


図8 現在歯に対してう歯を持つ者の割合、5歳以上、永久歯

表9 現在歯に対してう歯を持つ者の割合の年次推移、5歳以上、永久歯
(%)

年齢(歳)	昭和62年	平成5年	平成11年	平成17年	平成23年
5～9	43.3	36.3	24.3	14.6	10.0
10～14	90.4	86.4	69.7	57.7	34.7
15～19	97.5	94.9	88.9	73.9	63.7
20～24	97.7	97.7	96.0	90.5	89.9
25～34	99.2	98.7	98.6	98.5	96.2
35～44	98.4	99.5	99.3	100.0	98.8
45～54	95.4	97.1	98.7	98.7	99.1
55～64	87.8	91.9	94.8	97.4	97.5
65～74	68.1	76.9	83.7	88.5	91.9
75～84	46.9	54.5	65.2	68.7	84.1
85～		39.4	41.8	58.3	65.1

注) 平成5年以前、平成11年以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。



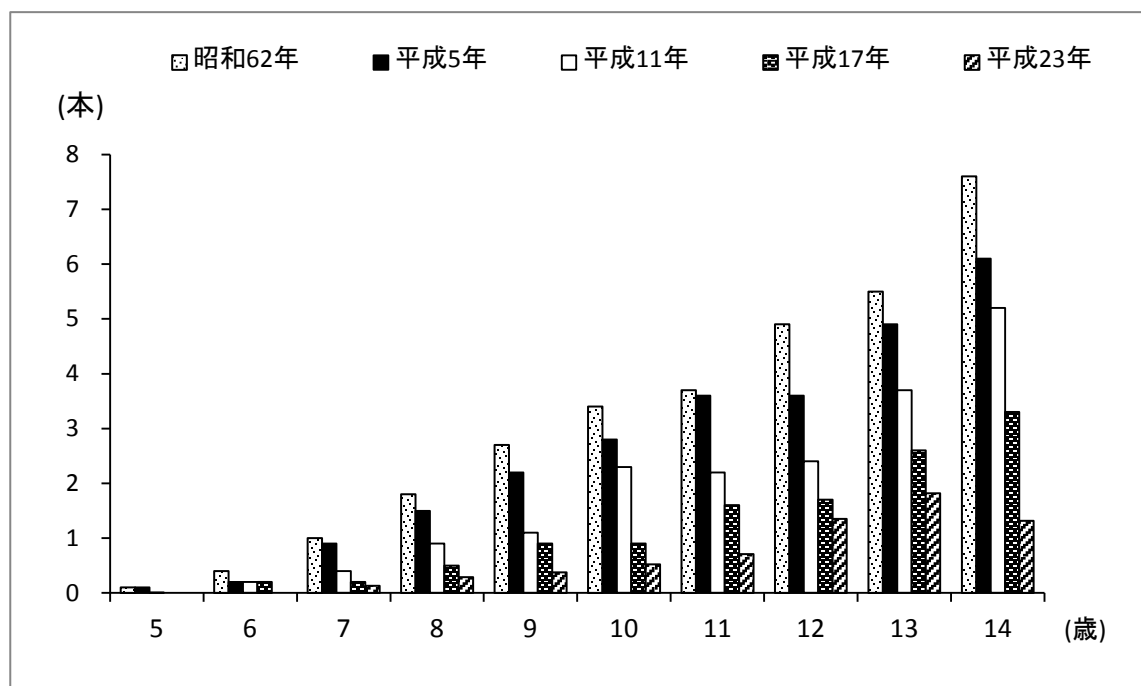
注) 平成5年以前、平成11年以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。

図9 現在歯に対してう歯を持つ者の割合の年次推移5歳以上、永久歯

表10 1人平均DMF歯数(DMFT指数)の年次推移、5～15歳未満、永久歯
(本)

年齢(歳)	昭和62年	平成5年	平成11年	平成17年	平成23年
5	0.1	0.1	0.0	－	－
6	0.4	0.2	0.2	0.2	－
7	1.0	0.9	0.4	0.2	0.1
8	1.8	1.5	0.9	0.5	0.3
9	2.7	2.2	1.1	0.9	0.4
10	3.4	2.8	2.3	0.9	0.5
11	3.7	3.6	2.2	1.6	0.7
12	4.9	3.6	2.4	1.7	1.4
13	5.5	4.9	3.7	2.6	1.8
14	7.6	6.1	5.2	3.3	1.3

注) 平成5年以前、平成11年以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。



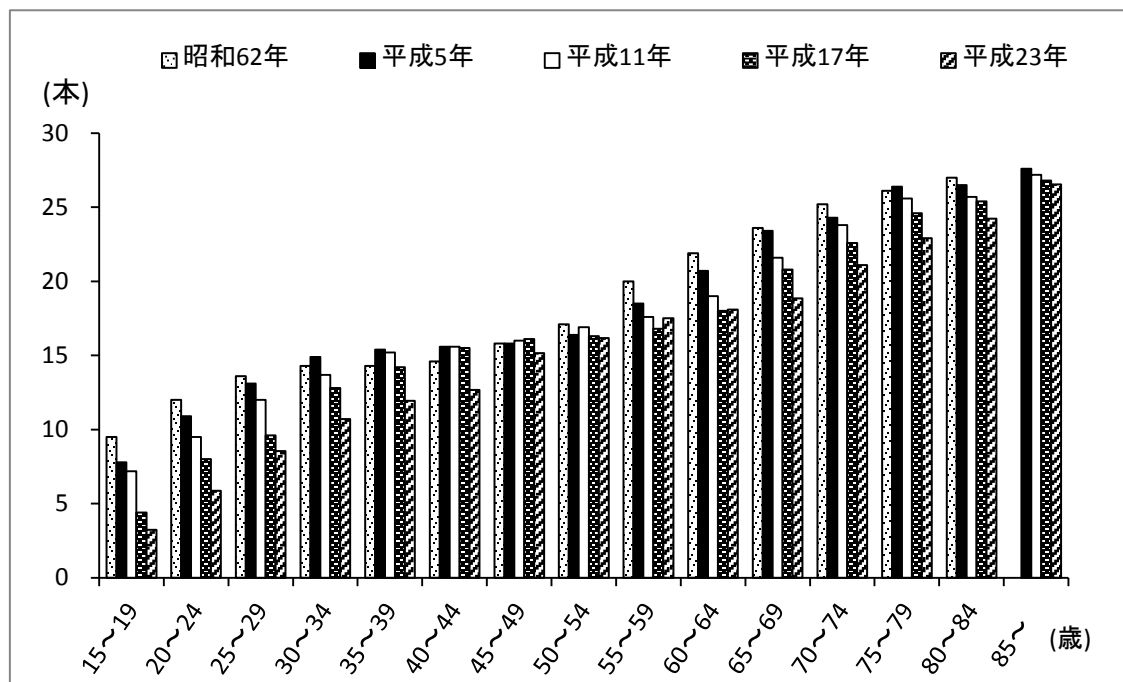
注) 平成5年以前、平成11年以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。

図10 1人平均DMF歯数(DMFT歯数)の年次推移、5～15歳未満、永久歯

表11 1人平均DMF歯数(DMFT指数)の年次推移、15歳以上、永久歯
(本)

年齢階級 (歳)	昭和62年	平成5年	平成11年	平成17年	平成23年
15～19	9.5	7.8	7.2	4.4	3.2
20～24	12.0	10.9	9.5	8.0	5.9
25～29	13.6	13.1	12.0	9.6	8.5
30～34	14.3	14.9	13.7	12.8	10.7
35～39	14.3	15.4	15.2	14.2	11.9
40～44	14.6	15.6	15.6	15.5	12.7
45～49	15.8	15.8	16.0	16.1	15.2
50～54	17.1	16.4	16.9	16.3	16.2
55～59	20.0	18.5	17.6	16.8	17.5
60～64	21.9	20.7	19.0	18.0	18.1
65～69	23.6	23.4	21.6	20.8	18.9
70～74	25.2	24.3	23.8	22.6	21.1
75～79	26.1	26.4	25.6	24.6	22.9
80～84	27.0	26.5	25.7	25.4	24.2
85～		27.6	27.2	26.8	26.5

注1) 平成5年以前、平成11年以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。
注2) 昭和62年は、80歳以上でひとつの年齢階級としている。



注1) 平成5年以前、平成11年以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。
注2) 昭和62年は、80歳以上でひとつの年齢階級としている。

図11 1人平均DMF歯数(DMFT指数)の年次推移、15歳以上、永久歯

表12 処置歯にしめる充填歯、クラウンの割合

(%)

年齢階級 (歳)	充填歯	架工義歯 (ブリッジ)の 支台以外	架工義歯 (ブリッジ)の 支台
5～9	100.0	－	－
10～14	97.4	2.6	－
15～19	89.6	9.5	0.9
20～24	94.0	5.0	1.0
25～29	88.0	11.4	0.7
30～34	82.1	16.6	1.4
35～39	76.2	21.5	2.3
40～44	72.8	23.0	4.2
45～49	61.9	32.8	5.2
50～54	56.0	34.1	10.0
55～59	47.3	38.4	14.3
60～64	40.6	41.7	17.7
65～69	38.3	43.0	18.8
70～74	34.7	47.0	18.3
75～79	30.8	49.4	19.7
80～84	25.3	54.7	20.0
85～	26.4	54.2	19.4

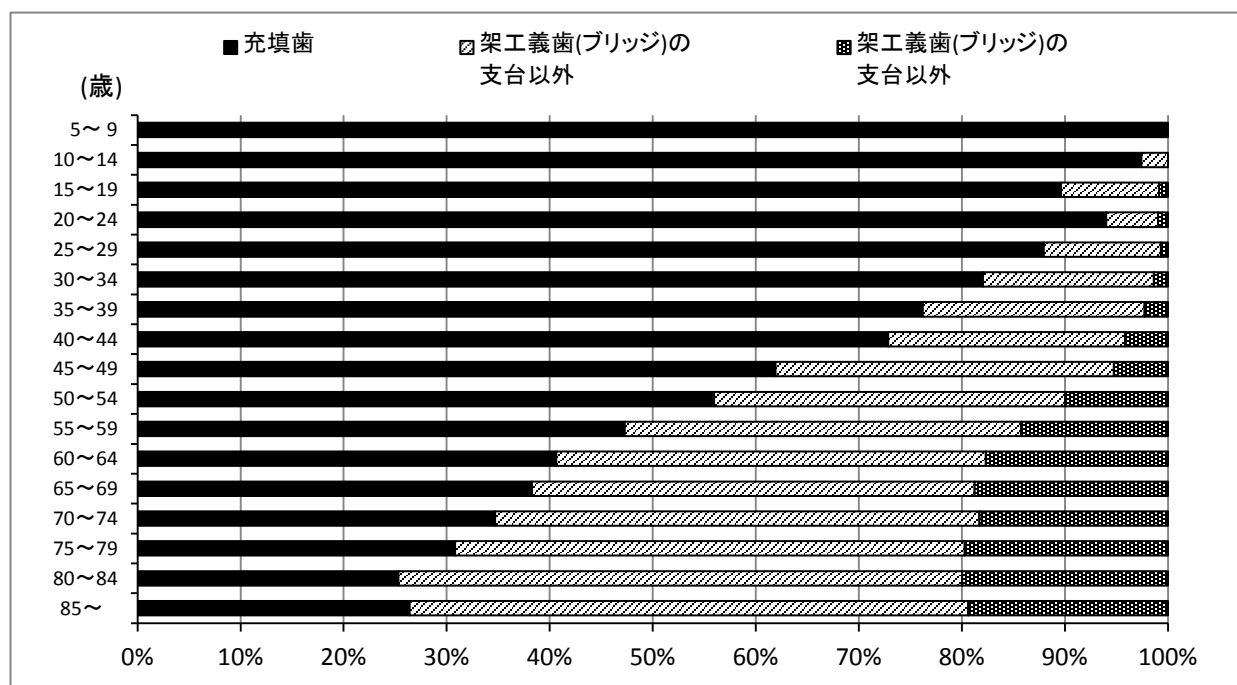


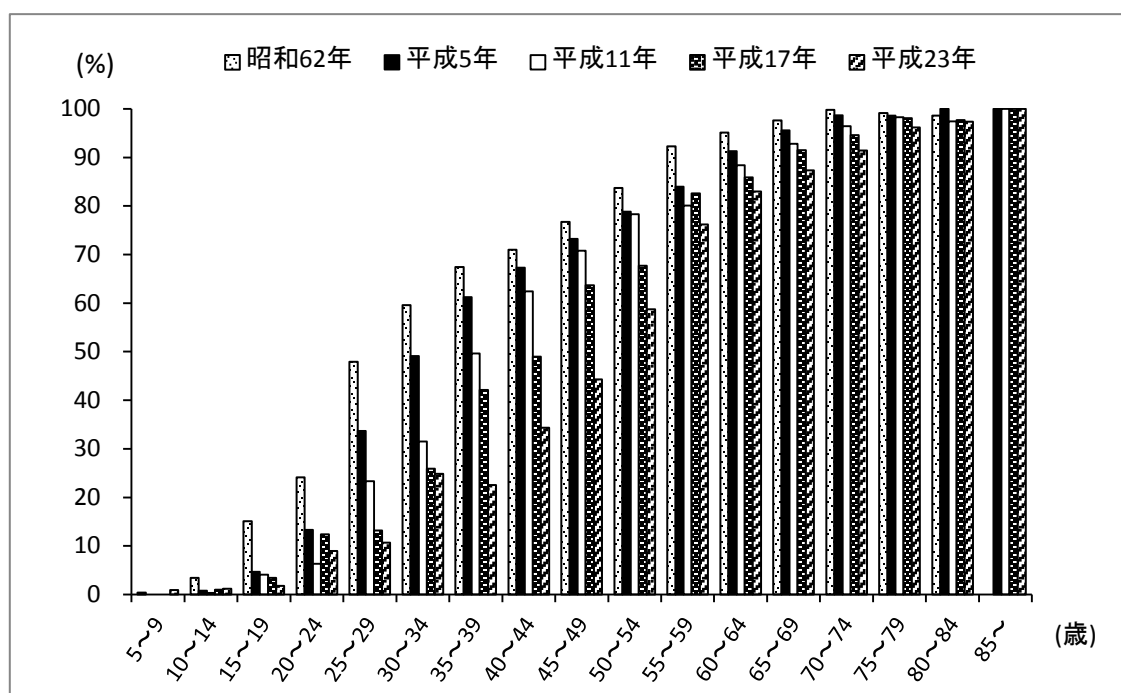
図12 処置歯にしめる充填歯、クラウンの割合

表13 喪失歯所有者率の年次推移、5歳以上、永久歯

(%)

年齢(歳)	昭和62年	平成5年	平成11年	平成17年	平成23年
5～9	0.4	—	—	—	0.9
10～14	3.4	0.8	0.3	1.0	1.2
15～19	15.1	4.7	4.1	3.4	1.8
20～24	24.1	13.3	6.3	12.4	9.0
25～29	47.9	33.7	23.3	13.2	10.7
30～34	59.6	49.1	31.5	25.9	24.9
35～39	67.4	61.2	49.6	42.1	22.5
40～44	71.0	67.3	62.4	49.0	34.4
45～49	76.7	73.2	70.8	63.7	44.3
50～54	83.7	78.8	78.3	67.7	58.8
55～59	92.3	84.0	80.1	82.6	76.2
60～64	95.1	91.3	88.4	85.9	83.0
65～69	97.6	95.6	92.8	91.5	87.3
70～74	99.8	98.7	96.4	94.6	91.4
75～79	99.1	98.6	98.3	98.1	96.2
80～84	98.6	100.0	97.4	97.7	97.3
85～	—	100.0	100.0	100.0	100.0

注)昭和62年は、80歳以上でひとつの年齢階級としている。



注)昭和62年は、80歳以上でひとつの年齢階級としている。

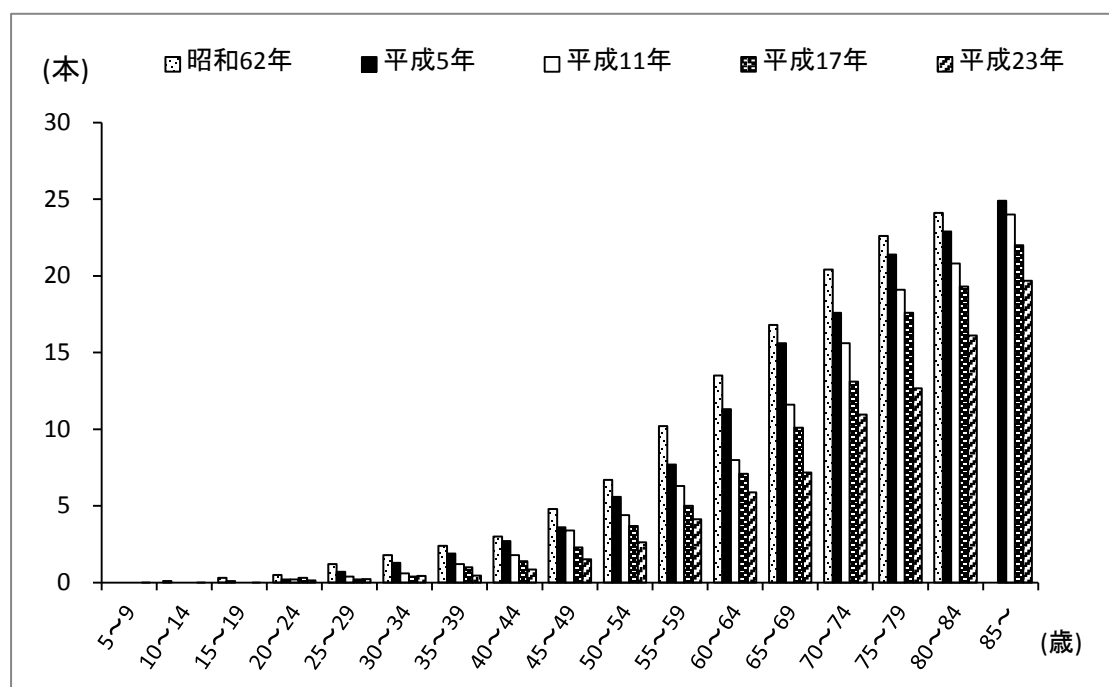
図13 喪失歯所有者率の年次推移、5歳以上、永久歯

表14 1人平均喪失歯数の年次推移、5歳以上、永久歯

(本)

年齢(歳)	昭和62年	平成5年	平成11年	平成17年	平成23年
5～9	0.0	-	-	-	0.0
10～14	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
15～19	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0
20～24	0.5	0.2	0.2	0.3	0.1
25～29	1.2	0.7	0.4	0.2	0.2
30～34	1.8	1.3	0.6	0.4	0.4
35～39	2.4	1.9	1.2	1.0	0.5
40～44	3.0	2.7	1.8	1.4	0.9
45～49	4.8	3.6	3.4	2.3	1.5
50～54	6.7	5.6	4.4	3.7	2.6
55～59	10.2	7.7	6.3	5.0	4.1
60～64	13.5	11.3	8.0	7.1	5.9
65～69	16.8	15.6	11.6	10.1	7.2
70～74	20.4	17.6	15.6	13.1	11.0
75～79	22.6	21.4	19.1	17.6	12.7
80～84	24.1	22.9	20.8	19.3	16.1
85～	24.1	24.9	24.0	22.0	19.7

注)昭和62年は、80歳以上でひとつの年齢階級としている。



注)昭和62年は、80歳以上でひとつの年齢階級としている。

図14 1人平均喪失歯数の年次推移、5歳以上、永久歯

表15 補綴物の装着の有無と各補綴物の装着者の割合

(%)

年齢階級 (歳)	総数(人)	補綴物 未着者	架工義歯 装着者	部分床義歯 装着者	全部床義歯 装着者
15～19	113	99.1	0.9	—	—
20～24	89	97.8	2.2	—	—
25～29	122	94.3	4.9	0.8	—
30～34	193	90.2	8.3	1.6	—
35～39	271	88.2	11.1	1.1	—
40～44	227	81.1	18.5	1.3	—
45～49	210	75.2	22.4	2.9	1.0
50～54	257	55.3	38.9	8.9	1.2
55～59	286	41.6	48.3	17.1	1.4
60～64	440	30.7	53.6	24.3	5.2
65～69	395	28.6	49.4	36.2	8.9
70～74	444	18.5	48.2	41.9	24.3
75～79	340	13.5	46.5	46.2	28.8
80～84	225	8.9	34.7	52.0	42.7
85～	106	8.5	28.3	43.4	52.8

注) 複数の種類の義歯を装着している者がいるため、
義歯装着者の割合を合計すると100%以上となる年齢階級がある。

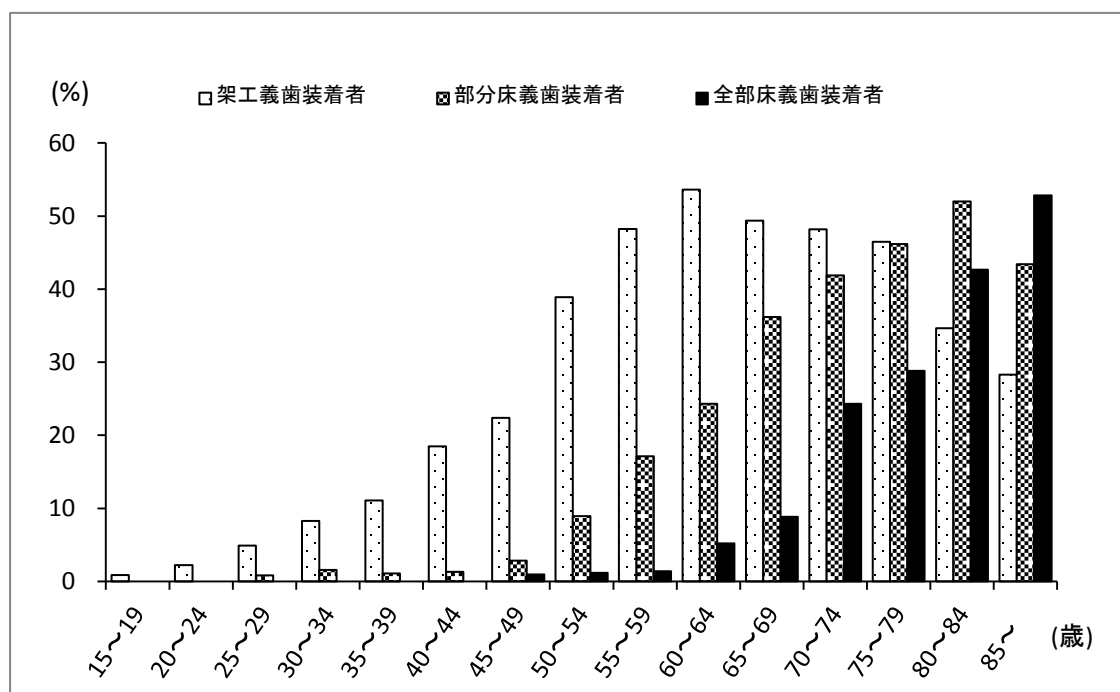


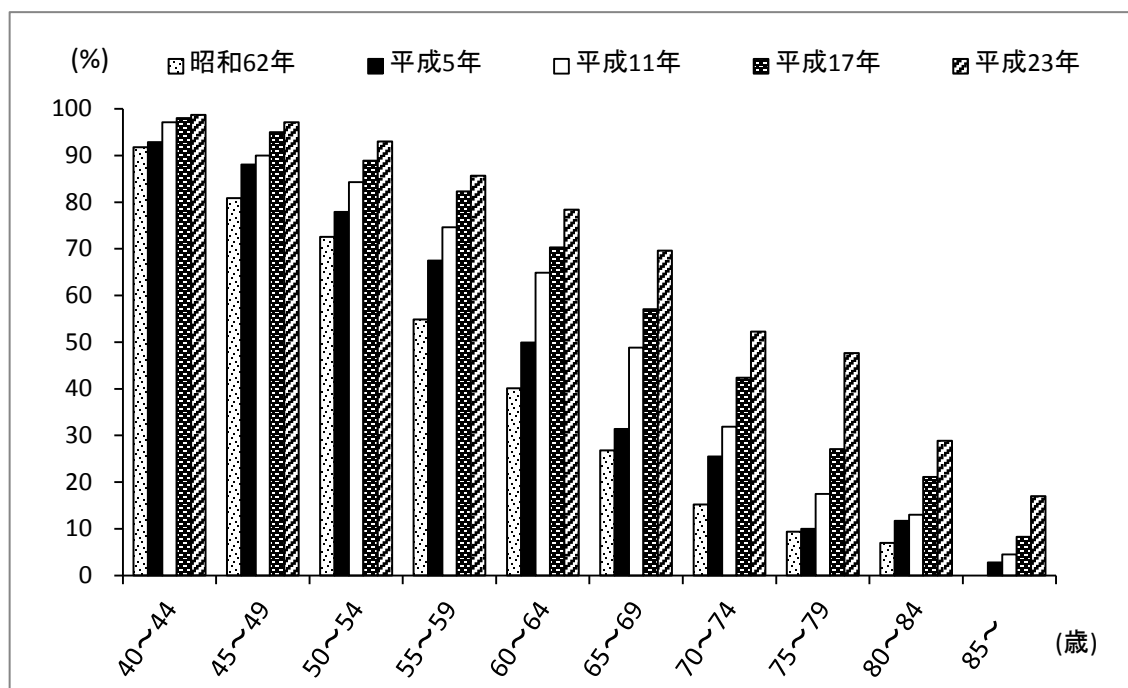
図15 補綴物の装着の有無と各補綴物の装着者の割合

表16 20本以上の歯を有する者の割合の年次推移

(%)

年齢(歳)	昭和62年	平成5年	平成11年	平成17年	平成23年
40～44	91.8	92.9	97.1	98.0	98.7
45～49	80.9	88.1	90.0	95.0	97.1
50～54	72.6	77.9	84.3	88.9	93.0
55～59	54.9	67.5	74.6	82.3	85.7
60～64	40.1	49.9	64.9	70.3	78.4
65～69	26.8	31.4	48.8	57.1	69.6
70～74	15.2	25.5	31.9	42.4	52.3
75～79	9.4	10.0	17.5	27.1	47.6
80～84	7.0	11.7	13.0	21.1	28.9
85～		2.8	4.5	8.3	17.0

注)昭和62年は、80歳以上でひとつの年齢階級としている。



注)昭和62年は、80歳以上でひとつの年齢階級としている。

図16 20本以上の歯を有する者の割合の年次推移

表17 1人平均現在歯数

(本)

年齢階級 (歳)	総数	男	女
40～44	27.8	27.6	27.9
45～49	27.1	27.1	27.1
50～54	25.9	25.8	25.9
55～59	24.4	24.3	24.4
60～64	22.5	23.0	22.2
65～69	21.2	21.0	21.4
70～74	17.3	17.7	17.0
75～79	15.6	15.3	15.9
80～84	12.2	13.6	11.0
85～	8.4	9.2	8.0

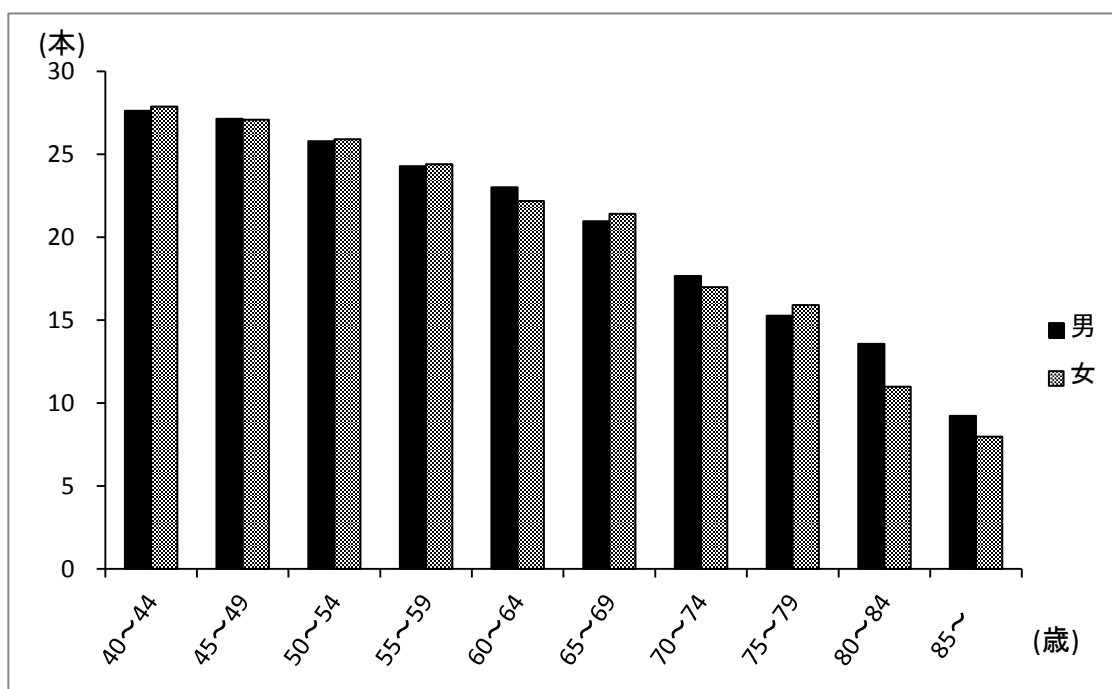


図17 1人平均現在歯数

表18 20本以上の歯を有する者の割合

(%)

年齢階級 (歳)	総数	男	女
40～44	98.7	97.5	99.3
45～49	97.1	97.4	97.0
50～54	93.0	88.7	95.6
55～59	85.7	83.6	87.1
60～64	78.4	79.7	77.5
65～69	69.6	68.9	70.2
70～74	52.3	55.0	50.0
75～79	47.6	46.0	49.2
80～84	28.9	35.0	23.8
85～	17.0	17.9	16.4

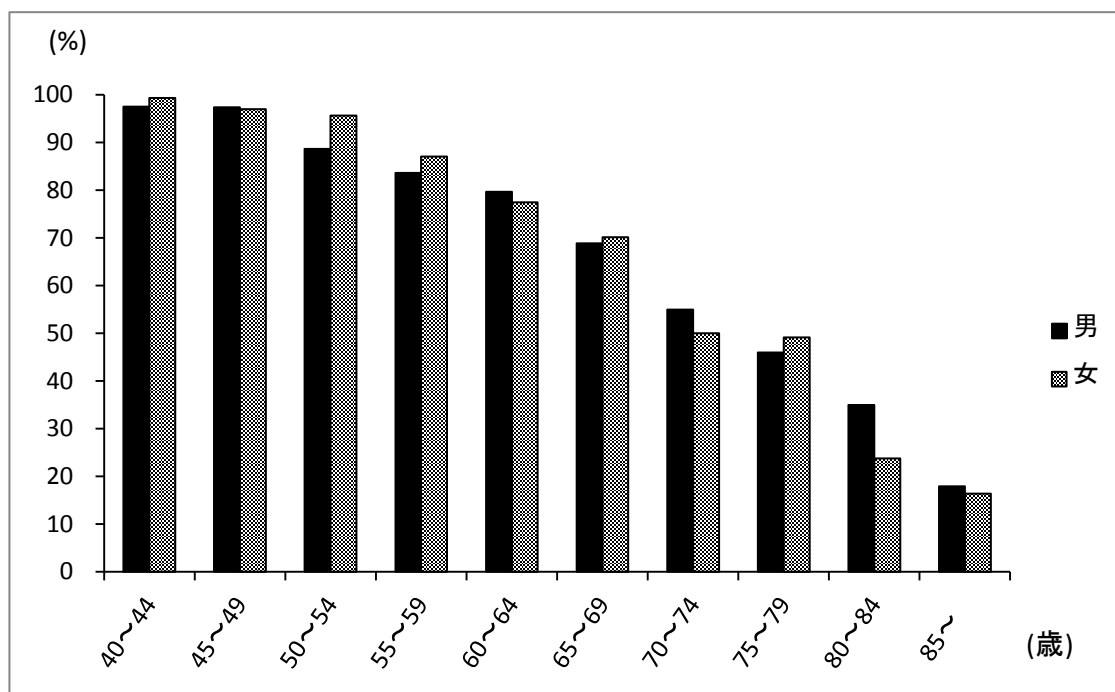


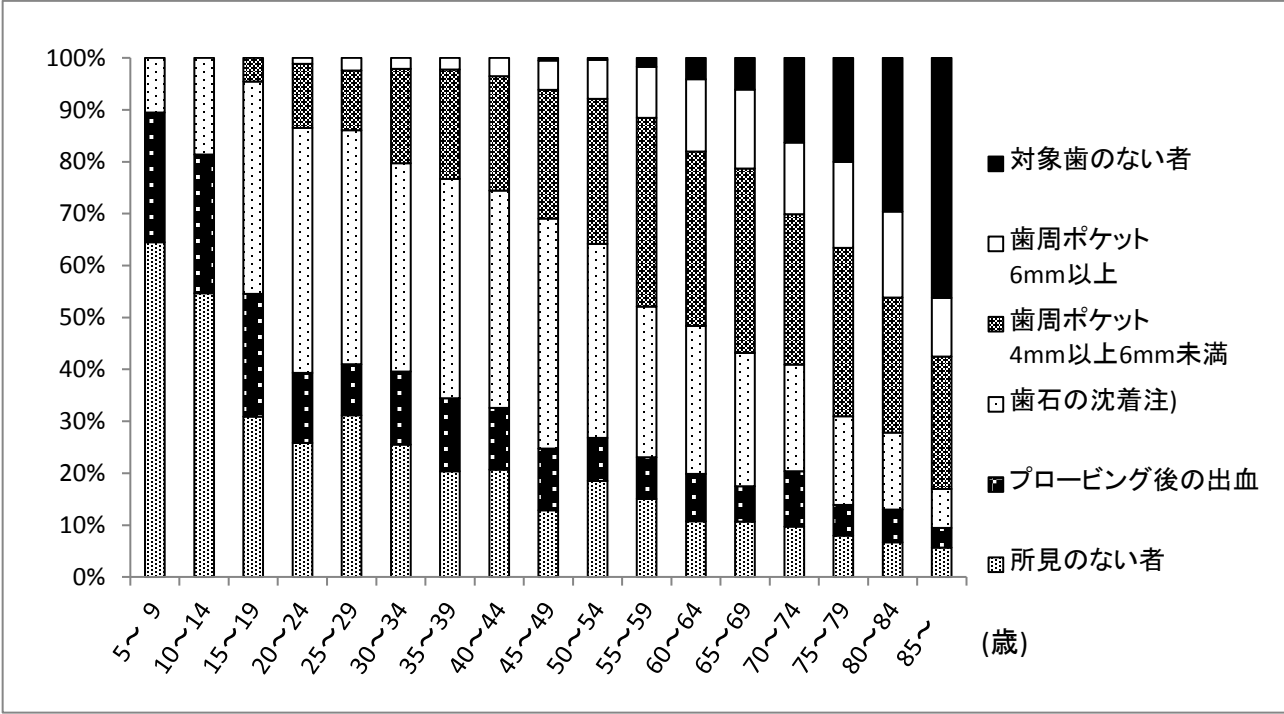
図18 20本以上の歯を有する者の割合

表19 歯肉の所見の有無、年齢階級別

(%)

年齢階級	所見のない者	所見のある者							対象歯のない者
		総数	プロービング後の出血	歯石の沈着 (注)	歯周ポケット 4mm以上6mm未満		歯周ポケット 6mm以上		
					総数	歯石(+)	総数	歯石(+)	
5～ 9	64.5	35.5	25.0	10.5	—	—	—	—	—
10～14	54.7	45.3	26.7	18.6	—	—	—	—	—
15～19	30.9	69.1	23.6	40.9	4.5	—	—	—	—
20～24	25.8	74.2	13.5	47.2	12.4	4.5	1.1	1.1	—
25～29	31.1	68.9	9.8	45.1	11.5	4.1	2.5	—	—
30～34	25.5	74.5	14.1	40.1	18.2	7.8	2.1	0.5	—
35～39	20.4	79.6	14.1	42.2	21.1	7.0	2.2	0.7	—
40～44	20.7	79.3	11.9	41.9	22.0	8.8	3.5	1.8	—
45～49	12.9	86.7	11.9	44.3	24.8	11.4	5.7	1.9	0.5
50～54	18.5	81.1	8.3	37.4	28.0	8.3	7.5	3.1	0.4
55～59	15.0	83.2	8.0	29.0	36.4	11.5	9.8	3.1	1.7
60～64	10.7	85.2	9.1	28.5	33.6	11.4	13.9	6.4	4.1
65～69	10.7	83.2	6.9	25.6	35.5	12.7	15.2	5.8	6.1
70～74	9.7	73.8	10.6	20.6	29.0	10.6	13.8	6.3	16.3
75～79	8.0	72.0	5.9	17.1	32.4	9.7	16.5	5.3	20.1
80～84	6.7	63.7	6.3	14.8	26.0	8.5	16.6	5.8	29.6
85～	5.7	48.1	3.8	7.5	25.5	7.5	11.3	4.7	46.2

注) 歯石の沈着の項には、歯周ポケットが4mm以上の者は含まない。



注) 歯石の沈着の項には、歯周ポケットが4mm以上の者は含まない。

図19 歯肉の所見の有無、年齢階級別

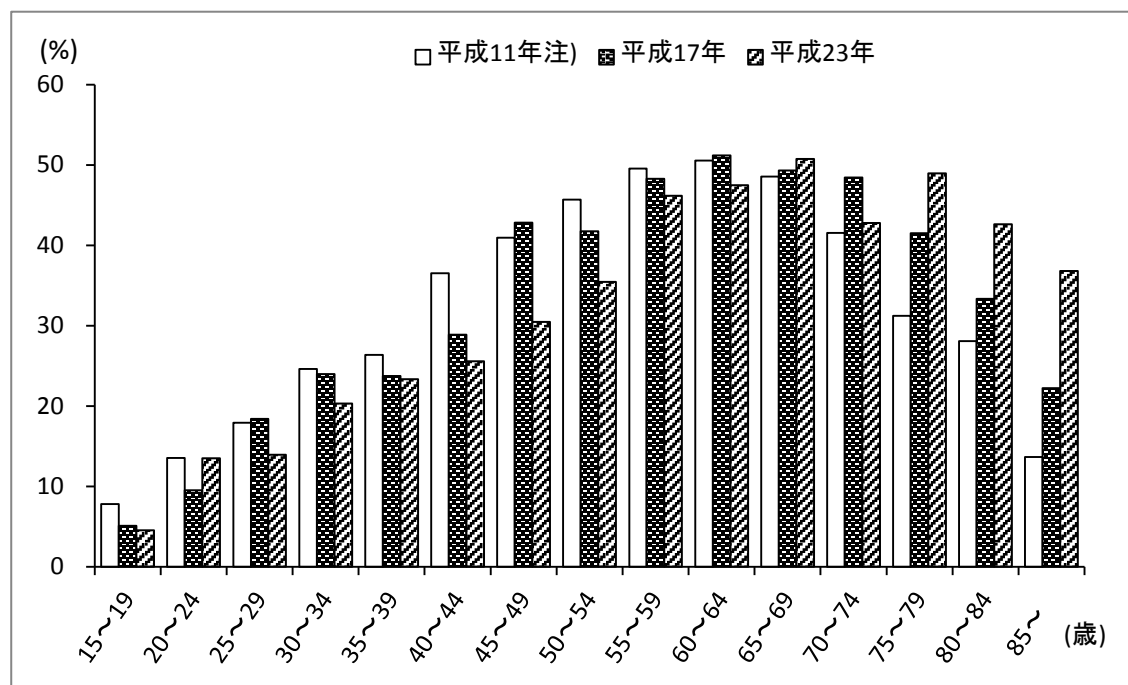
表20 4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合

(%)

年齢階級 (歳)	平成11年	平成17年	平成23年
15～19	7.8	5.1	4.5
20～24	13.5	9.5	13.5
25～29	17.9	18.4	13.9
30～34	24.6	23.9	20.3
35～39	26.4	23.7	23.3
40～44	36.5	28.9	25.6
45～49	41.0	42.8	30.5
50～54	45.7	41.8	35.4
55～59	49.5	48.3	46.2
60～64	50.5	51.2	47.5
65～69	48.6	49.3	50.8
70～74	41.6	48.4	42.8
75～79	31.2	41.5	49.0
80～84	28.1	33.3	42.6
85～	13.6	22.2	36.8

注1)平成11年と平成17年以降では、1歯あたりの診査部位が異なる。

注2)被調査者のうち対象歯を持たない者も含めた割合を算出した。



注1)平成11年と平成17年以降では、1歯あたりの診査部位が異なる。

注2)被調査者のうち対象歯を持たない者も含めた割合を算出した。

図20 4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合

表21 叢生の状況(人数)

(人)

年齢階級 (歳)	叢生なし	叢生あり		
		上下顎とも	上顎のみ	下顎のみ
12～15	59	13	18	15
16～20	58	14	13	20

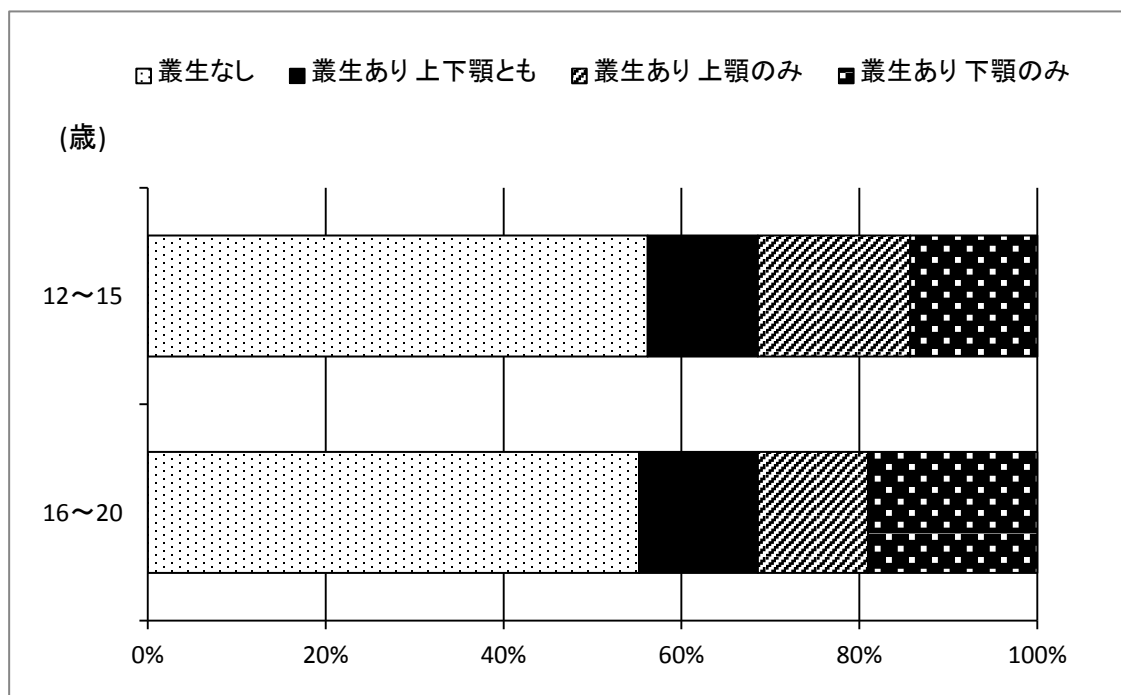


図21 叢生の状況(割合)

表22 空隙の状況(人数)

(人)

年齢階級 (歳)	空隙なし	空隙あり		
		上下顎とも	上顎のみ	下顎のみ
12～15	89	1	8	6
16～20	94	1	6	4

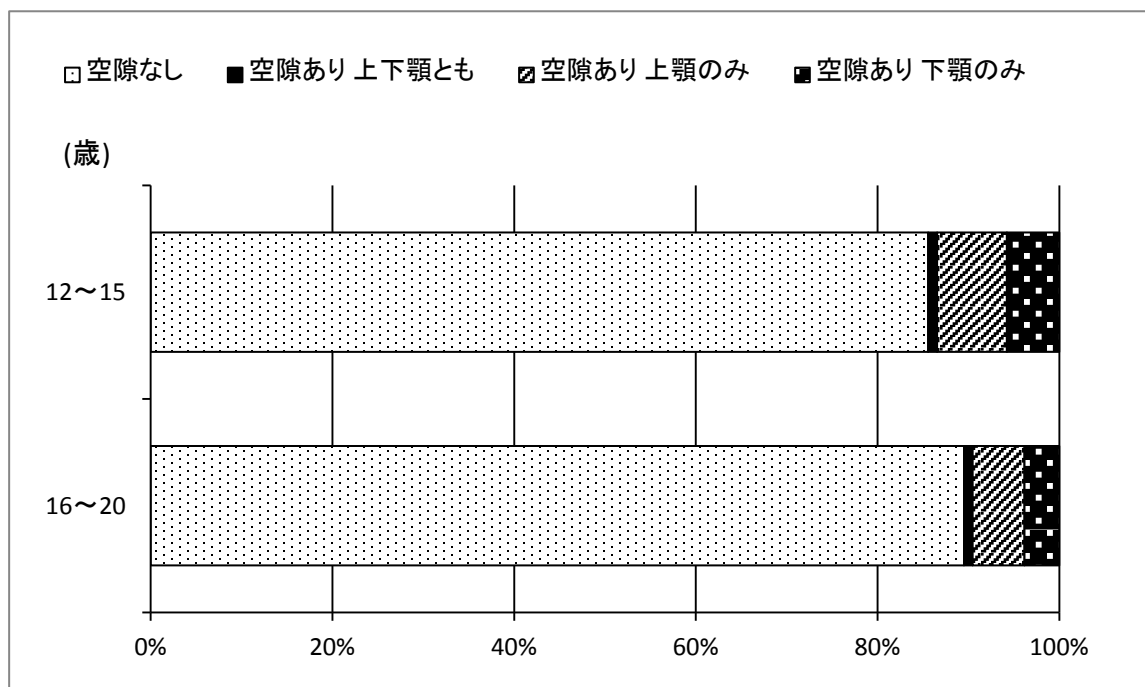


図22 空隙の状況(割合)

表23 オーバージェクトの分布(人数)

年齢階級 (年)	オーバージェクト					
	← (-)	(0)				(+) →
	-4 mm 以上	-3 mm～ -0.5 mm	±0.5 mm 未満	0.5 mm～ 3 mm	4 mm～ 5 mm	6 mm 以上
12～15	-	3	13	52	22	15
16～20	-	2	14	54	22	12

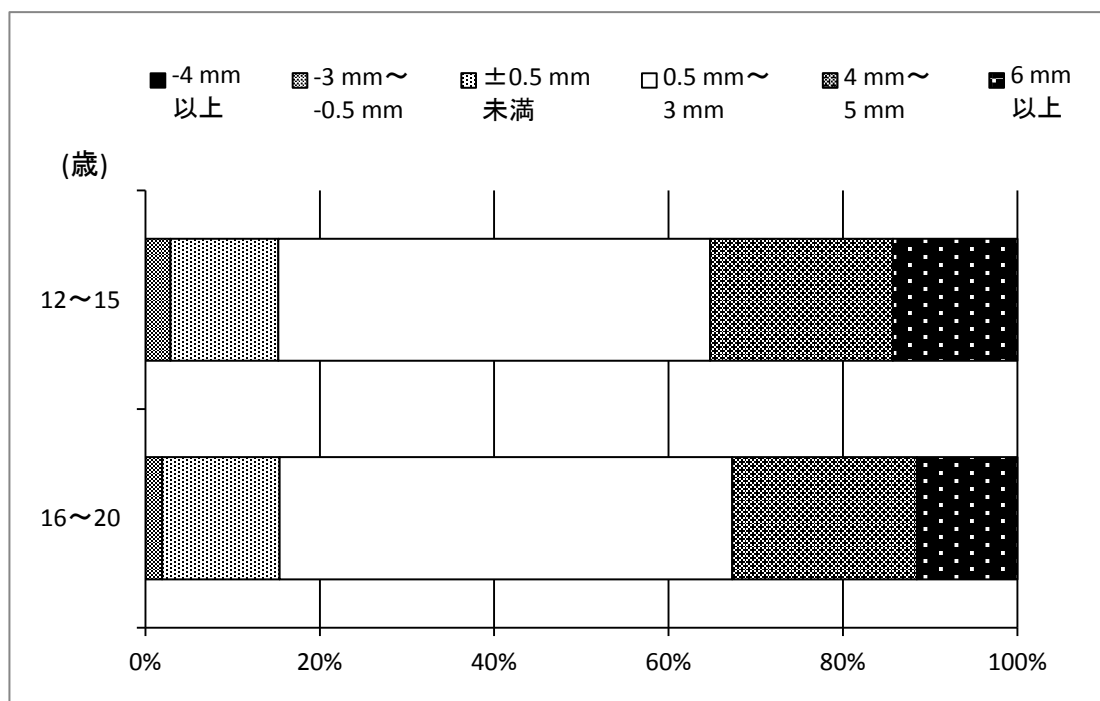


図23 オーバージェクトの分布(割合)

表24 オーバーバイトの分布(人数)

(人)

年齢階級 (年)	オーバーバイト					
	← (-)	(0)				(+) →
	-4 mm 以上	-3 mm～ -0.5 mm	±0.5 mm 未満	0.5 mm～ 3 mm	4 mm～ 5 mm	6 mm 以上
12～15	2	2	20	58	11	5
16～20	1	7	20	50	13	5

注) 開咬の場合は、オーバーバイト(-)と表記した。

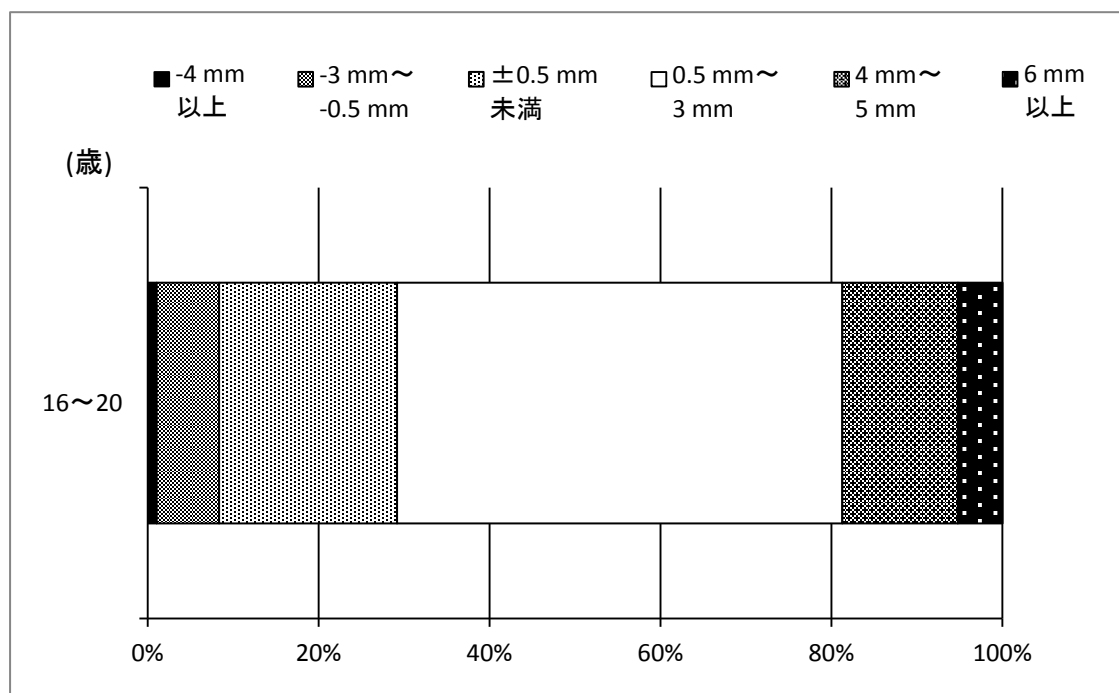


図24 オーバーバイトの分布(割合)

表25 フッ化物の塗布経験の有無

年 齢 (歳)	人数(人)	割 合 (%)					
		受けたことがある者				受けたことが ない者	不 詳
		総 数	市町村保健 センター等	その他の 医療機関	市町村保健 センター等+ その他の 医療機関		
総 数	535	63.6	15.3	38.7	9.5	28.0	8.4
1	37	18.9	13.5	5.4	—	64.9	16.2
2	40	57.5	37.5	17.5	2.5	42.5	—
3	32	59.4	21.9	28.1	9.4	37.5	3.1
4	46	65.2	15.2	39.1	10.9	30.4	4.3
5	30	76.7	13.3	53.3	10.0	23.3	—
6	38	76.3	15.8	50.0	10.5	15.8	7.9
7	45	73.3	13.3	40.0	20.0	17.8	8.9
8	52	73.1	5.8	55.8	11.5	23.1	3.8
9	45	68.9	15.6	48.9	4.4	24.4	6.7
10	48	64.6	14.6	39.6	10.4	25.0	10.4
11	38	63.2	13.2	42.1	7.9	23.7	13.2
12	37	70.3	13.5	48.6	8.1	18.9	10.8
13	28	50.0	7.1	21.4	21.4	25.0	25.0
14	19	63.2	15.8	42.1	5.3	21.1	15.8

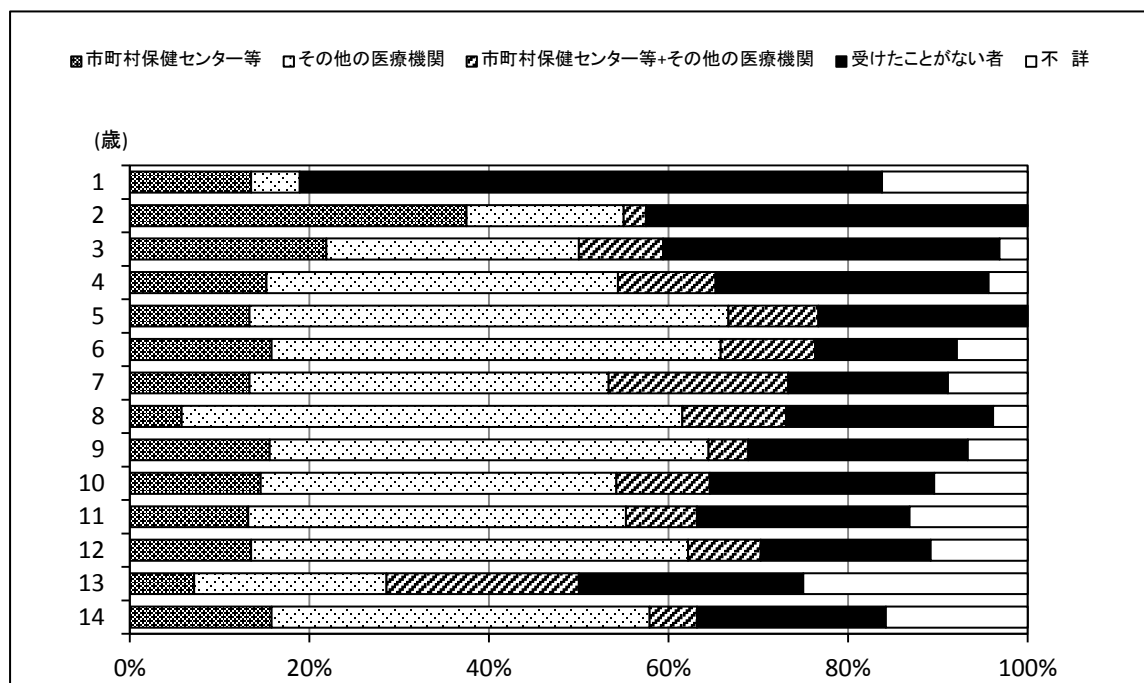


図25 フッ化物の塗布経験の有無

表26 フッ化物塗布の経験者数および割合の年次推移

調査年	人数(人)						割合(%)				
	総数	受けたことがない者	受けたことがある者			不詳	受けたことがない者	受けたことがある者			不詳
			市町村保健センター等	その他の医療機関	市町村保健センター等+その他の医療機関			市町村保健センター等	その他の医療機関	市町村保健センター等+その他の医療機関	
昭和62年	3,081	1,731	246	726	—	378	56.2	8.0	23.6	—	12.3
平成5年	2,073	965	215	576	—	317	46.6	10.4	27.8	—	15.3
平成11年	1,104	488	196	268	—	152	44.2	17.8	24.3	—	13.8
平成17年	620	194	119	248	—	59	31.3	19.2	40.0	—	9.5
平成23年	535	150	82	207	51	45	28.0	15.3	38.7	9.5	8.4

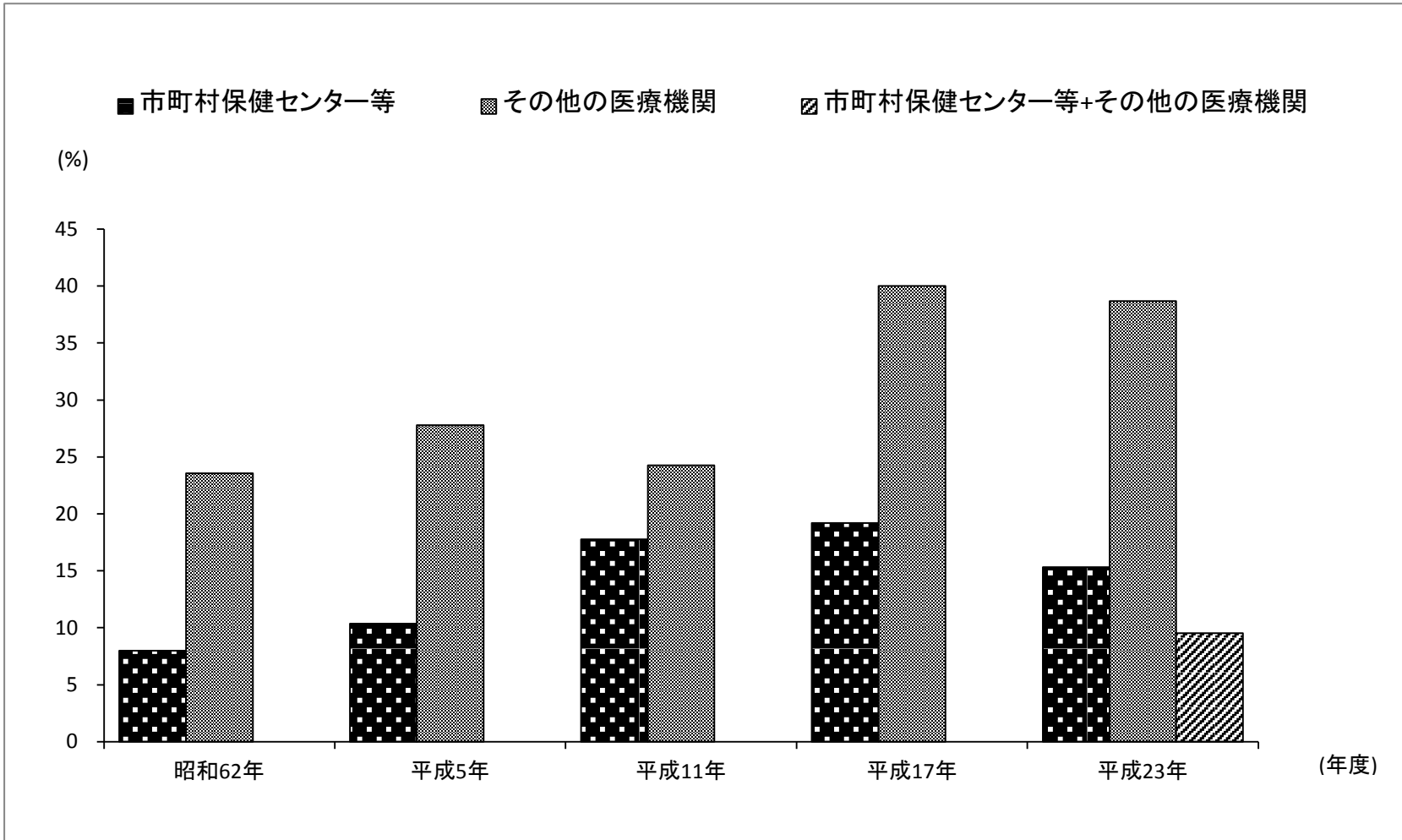


図26 フッ化物塗布の経験者の割合の年次推移

表27 歯ブラシの使用状況の年次推移

(%)

調査年	総数(人)	みがかない者	ときどきみがく者	毎日みがく者				不詳
				1回	2回	3回以上	回数不詳	
昭和44年	20,415	8.1	11.8	62.8	15.1	1.8	—	0.4
昭和50年	15,816	4.3	9.2	53.4	24.6	2.6	—	5.8
昭和56年	14,462	2.4	7.1	46.4	36.6	7.5	—	—
昭和62年	12,474	1.3	5.5	38.6	41.7	13.0	—	—
平成5年	9,827	1.1	3.9	33.0	44.9	16.1	—	1.0
平成11年	6,903	1.3	2.5	28.7	47.5	18.8	—	1.2
平成17年	4,606	1.3	2.4	25.4	48.7	20.8	—	1.4
平成23年	4,253	1.2	1.8	21.9	48.3	25.2	0.0	1.6

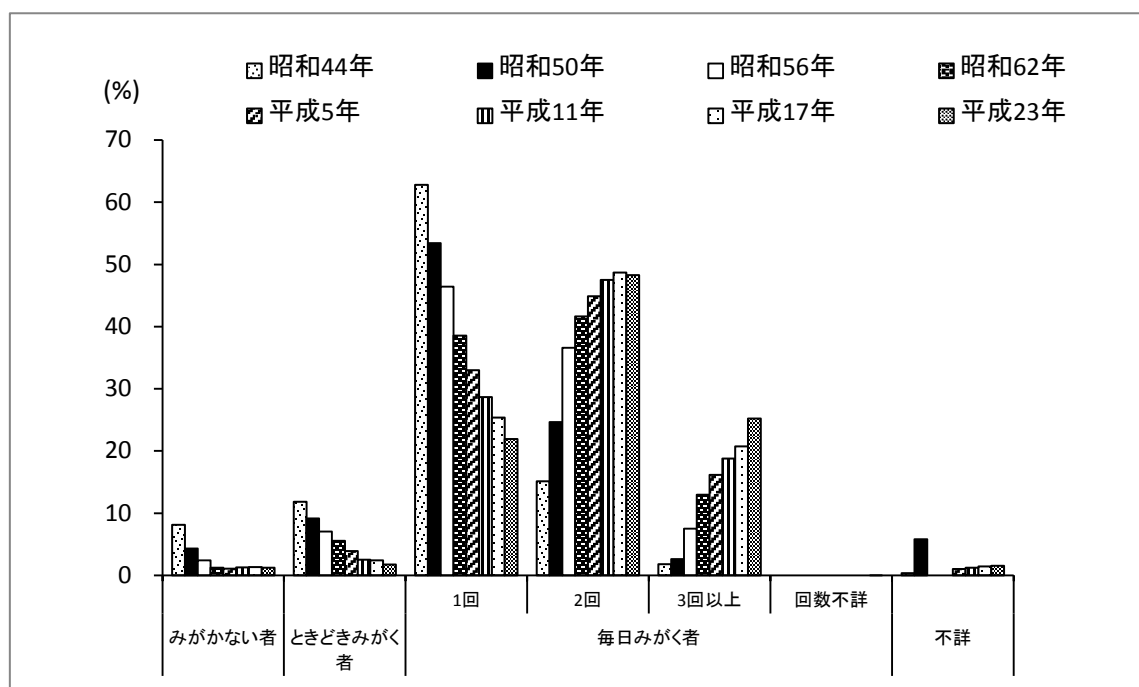


図27 歯ブラシの使用状況の年次推移

表28 顎関節の雑音を自覚する者の割合

※ 口を大きく開け閉めした時、
あごの音がするかという質問に「はい」と答えた者の割合
(%)

年齢階級 (歳)	男	女
15～19	23.6	19.0
20～24	21.9	28.1
25～29	24.4	35.1
30～34	30.1	27.5
35～39	25.0	28.1
40～44	19.8	18.5
45～49	21.1	23.9
50～54	17.5	20.6
55～59	24.1	15.3
60～64	17.1	14.6
65～69	10.2	13.2
70～74	5.4	9.5
75～79	5.5	6.8
80～84	3.9	6.6
85～	12.8	1.5

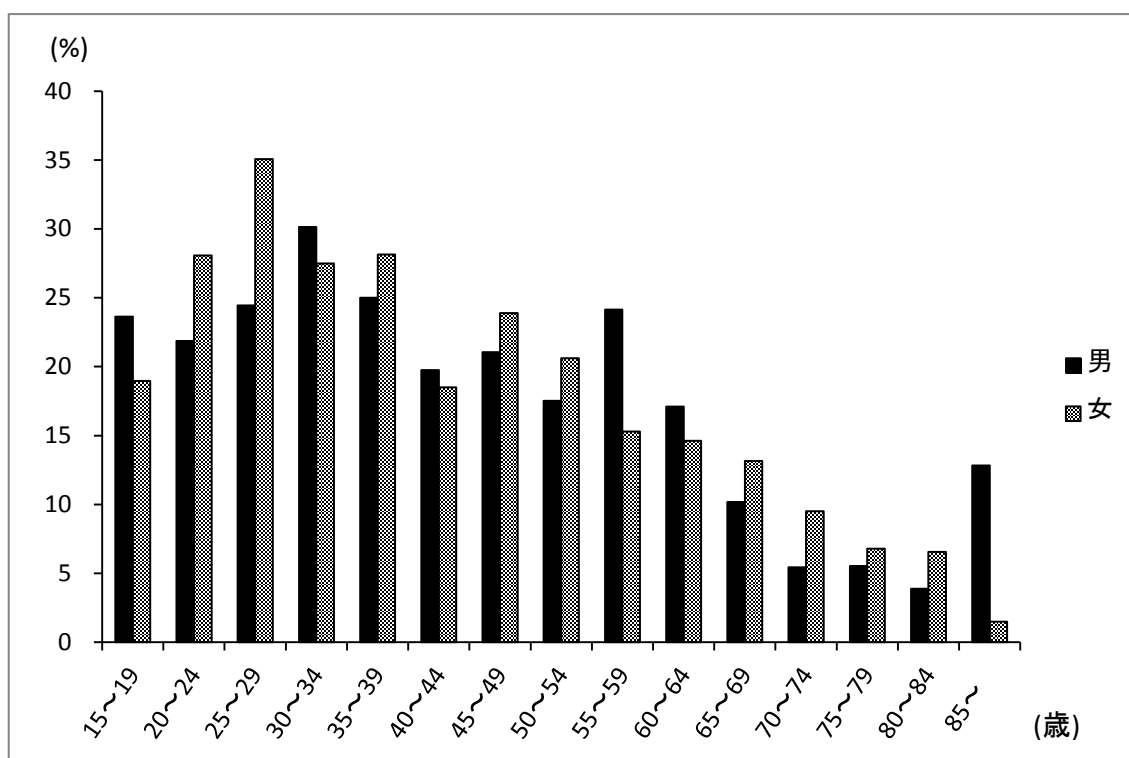


図28 顎関節の雑音を自覚する者の割合

※ 口を大きく開け閉めした時、あごの音がするかという質問に「はい」と答えた者の割合

表29 顎関節に痛みを自覚する者の割合

※ 口を大きく開け閉めした時、あごの痛みがあるかという質問に「はい」と答えた者の割合
(%)

年齢階級 (歳)	男	女
15～19	9.1	6.9
20～24	6.3	5.3
25～29	4.4	10.4
30～34	2.7	6.7
35～39	2.9	4.8
40～44	4.9	4.8
45～49	5.3	5.2
50～54	1.0	6.3
55～59	0.9	5.9
60～64	2.1	3.2
65～69	1.2	2.2
70～74	0.5	2.1
75～79	—	0.6
80～84	1.9	2.5
85～	2.6	1.5

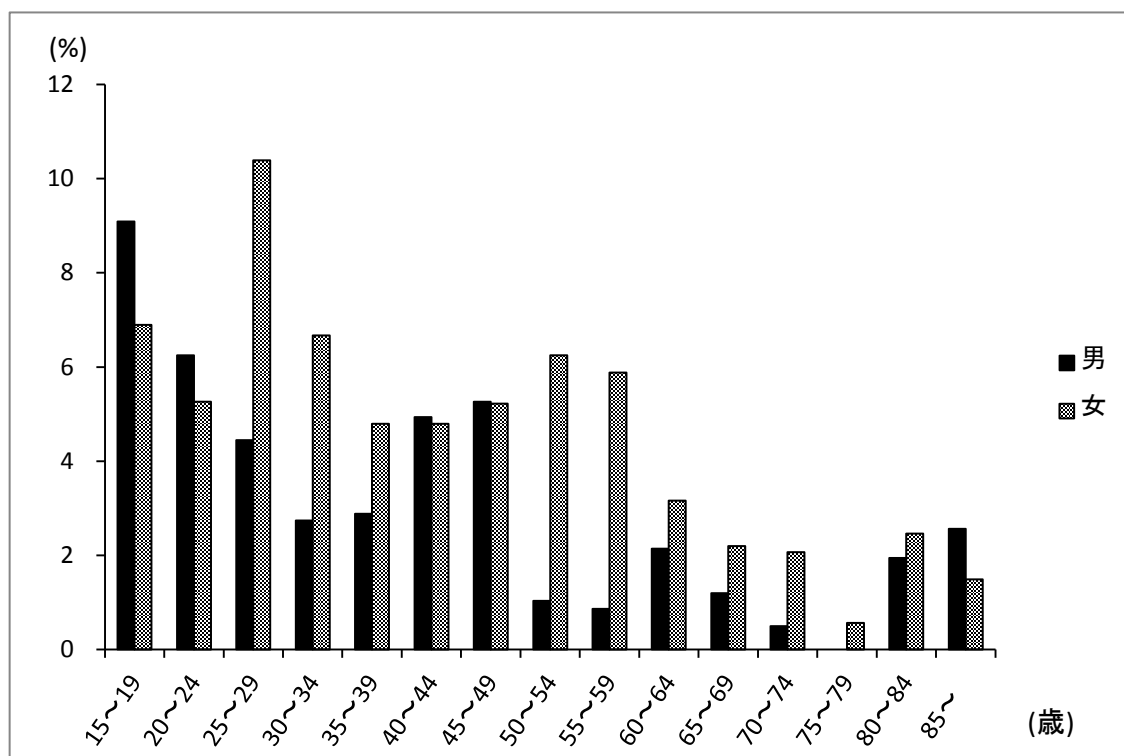


図29 顎関節に痛みを自覚する者の割合

※ 口を大きく開け閉めした時、あごの痛みがあるかという質問に「はい」と答えた者の割合

表30 インプラントの有無

年 齢(歳)	人 数(人)	割 合 (%)		
	総 数	あり	なし	不詳
総 数	3,718	2.6	94.0	3.4
15～24	202	－	97.0	3.0
25～34	315	1.0	97.1	1.9
35～44	498	1.0	95.0	4.0
45～54	467	2.1	96.8	1.1
55～64	726	4.3	93.9	1.8
65～74	839	4.4	92.0	3.6
75～84	565	1.2	91.9	6.9
85～	106	2.8	90.6	6.6

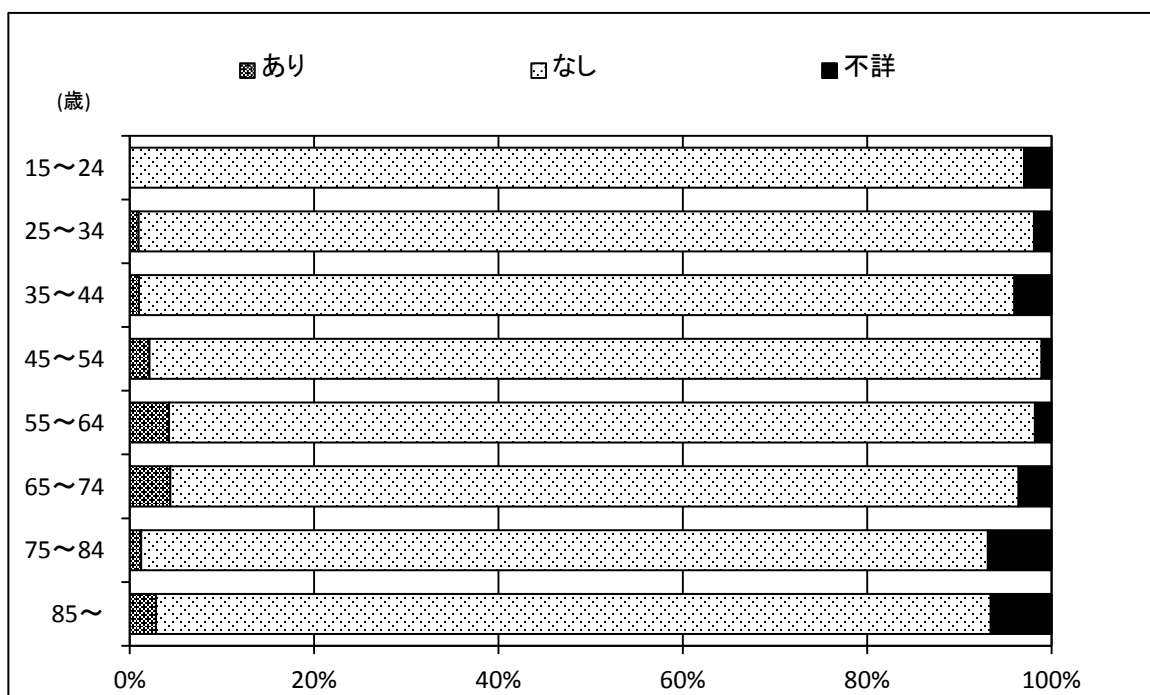


図30 インプラントの有無

表31 かみあわせの状況

年 齢(歳)	人数(人)	割 合 (%)			
	総 数	両側で 接触のある者	片側のみ 接触のある者	両側とも 接触のない者	不詳
総 数	3,718	74.2	5.1	19.2	1.5
15～19	113	98.2	－	0.9	0.9
20～24	89	98.9	－	－	1.1
25～29	122	98.4	0.8	－	0.8
30～34	193	97.4	－	－	2.6
35～39	271	98.2	0.7	0.4	0.7
40～44	227	97.8	0.9	0.9	0.4
45～49	210	95.7	1.0	1.4	1.9
50～54	257	89.5	3.1	5.1	2.3
55～59	286	81.8	6.3	8.4	3.5
60～64	440	78.9	4.5	15.2	1.4
65～69	395	70.1	7.8	20.8	1.3
70～74	444	54.3	7.7	36.5	1.6
75～79	340	44.4	10.3	44.4	0.9
80～84	225	28.0	14.2	56.9	0.9
85～	106	19.8	3.8	74.5	1.9

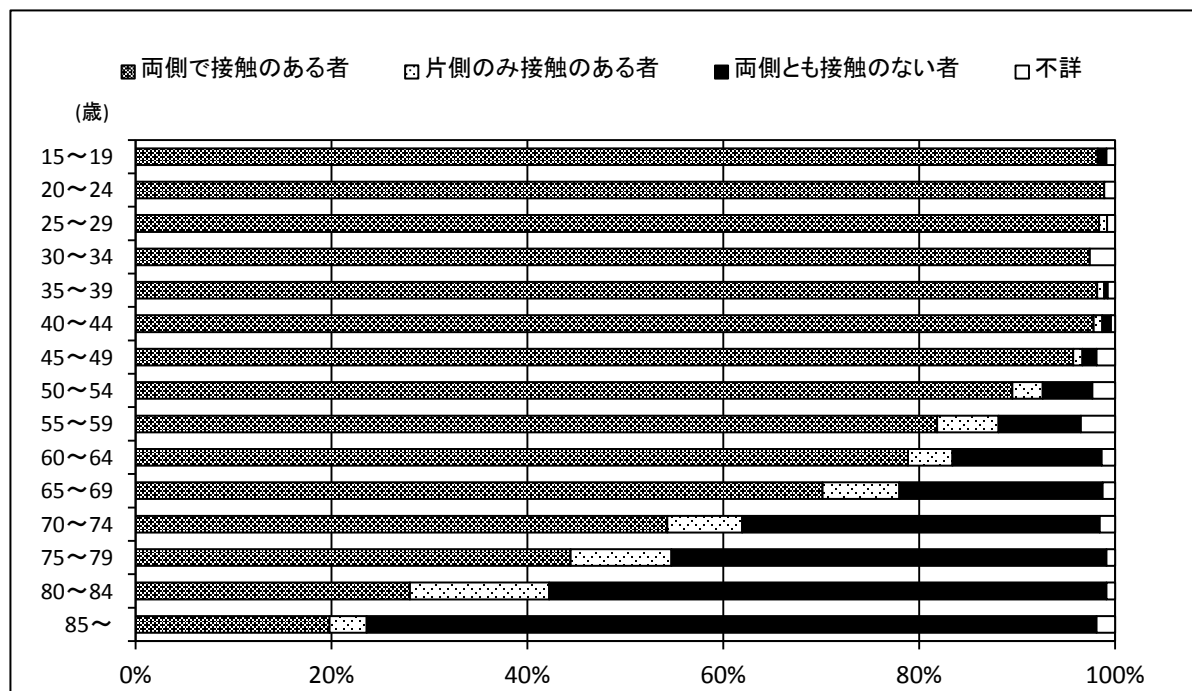


図31 かみあわせの状況